京城日報
十八日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢
發行所 京城日報社

總督訓示
司法官會同に於て

本總督就任の初に當り玆に各位を會し親しく地方に於ける司法事務の狀況を聽き且所思を陳ぶるを得るは甚だ欣幸とする所なり。

惟ふに新政以來各般の施設逐次其の步を進め統治の實績歷然たるものあり就中司法制度は機關の整備と法規の統一とに依り完成を告ぐるの日方に近く其の事務亦著しく進境を示し民衆の信賴深厚を加ふるを見る是れ各位が司法の本義に基き施政の方針に順應して運用を誤らず以て裁判の公正を保ちたるに職由せずんばあらず本總督は益〻其の獨立と嚴正とを尊重し更に之が大成を期せむとす各位は宜しく此の趣旨を體し克く公に克く明に以て威信を立て以て實效を完うし司法の權威を發揚せむことに努むべし。

司法と行政とは各獨立の畛域を有し管掌相異りと雖其密接の關係あるや論を待たず故に互に意思の疏通を圖り殊に職務の聯絡を保ちて處分の扞格支吾なからむことを期するは政務の實績を收むる所以にして非違を矯正し秩序を維持するに於て亦極めて緊要なり各位は意を此の點に留め行政機關との關係一層圓滿ならむことを期すべし。

今や新政惠を布き人心化に嚮ふ然れども頑獷にして不穩の言動を爲す者あり又此の輩の詿誤する所となりて架空の妄想を懷く者なきに非ず爲に社會の秩序を紊り內鮮融和の施設に支障を來すこと尠からず各位は是等罪犯に就きては嚴正愼重に事案を究明し之に處するに寬嚴宜を制し以て禍根の杜絕に力を竭さむことを要す犯罪の搜查は最も機敏と迅速とを要するを以て之が當局たる者或は事功を樹つるに急にして其の處置時に法規の範疇を超ゆるなきを保し難し幸にして我が朝鮮に於ては此の種の非難を聞くこと尠しと雖其の弊事の由來する所を察し之を未然に防ぐの用意なかるべからず檢事各位は犯罪搜查の適否が民衆の休戚に至大の關係あるを思ひ公正自ら持すると共に司法警察官を嚴督し一に法度に率由せしめ以て司法の威信を失墜するが如きことなきを期すべし。

◎支那二億元募債計畫

支那政府は更に新債貳億圓募集の計畫あり交通事業擴張資金に充當するもの也と(北京電報)

別報=支那交通部の計畫にかゝる二億元募債法令は十五日閣會の國務會議を通過し四期に分割募集する事となれり(北京電報)

◎聯合國回答と獨逸外相

伯林來電=獨逸外相チンメルマン氏は聯合國の米國に送れる回答を評して少くも獨逸の平和促進計畫の効能を阻止するものなり殊に該回答は獨逸が講和條件を發表する事を不可能ならしむるものなりと述べ且つ聯合軍が本年攻勢に出づるも亦失敗すべしと言ひ然も聯合軍攻勢の失敗は結局講和を促進するに至らんと宣言したり(紐育電報)

◎希臘の回答如何

雅典來電=聯合國の最後通牒に對する希臘政府の回答が滿足なる形式を具備せざる爲めに聯合國との國交關係回復遲延するに至れりされど希臘政府は目下聯合國より提出しある要求を無條件にて承諾す可く回答書の作製中と解せらる(紐育電報)

◎希臘王讓位の計畫

羅馬來電=協商國は希王コンスタンチンを退位せしめ現國王の從兄弟に當るアオスタ公爵を國王たらしむ可く計畫中なり(紐育電報)

◎石塚總裁釜山發

石塚東拓總裁は十八日朝解纜の櫻丸にて內地に向け出發せり(釜山特電)

◎堀內鐵道院技師

堀內鐵道院技師は十八日朝入港の高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて龍山に向ふ(釜山特電)

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は二十日午後六時三十分より司法官會議の爲め入京中なる各法院の兩長官を官邸に招待晩餐會を催し總督府側よりは山縣政務總監以下各部長官關係局課長等參列す

◎司法官會同(第一日)

司法官會同第一日は十八日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催各法院の兩長官は勿論長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長關係各課長等列席、別項記載の如く長谷川總督の訓示ありたる後記念の撮影を爲し午後は所管事項の報告ありて三時三十分閉會したり

◎土地收用施行

土地收用令を一月二十日より全羅北道外四道未施行地域全部に施行の件は十九日附府令を以て發布の事となれり

◎辭令

十七日附を以て左の通り辭令ありたり

依願免本官 朝鮮總督府平壤醫學講習所技師 內田銀五郞
陸軍憲兵中尉正七位 池田留吉
同 從六位子爵 久松番
同 從七位 次田的二郎
任朝鮮總督府警視 朝鮮總督府判事 膳鉦次郞
歐洲出張免せらる

◎公園調査終了

京城府にては南山、漢陽の兩公園改良のため數に林學博士本多靜六、林學士田村剛の兩氏に囑託して實地の調査を行ひたるが兩氏は東京に於て報告書を起草し脫稿の上は印刷に附して一般に公表する筈なり多分來月中旬頃其發表を見るに至るべしと

◎砲兵工廠敷地調査乎

兩三日前平壤內國通運會社出張所留置きにて東京砲兵工廠調査班發送の兵器と稱する荷物大小十五個到著したるは豫報の如く六年度豫算計上の朝鮮砲兵工廠支廠の平壤附近設置說の盛んなる折柄なれば早くも市民は種々取沙汰しつゝあるが右によれば何れ近く調査班來壤し工廠敷地を調査すべきは毫も疑ふところなかるべく尙ほ聞く處によれば昨年春夏二季中に東京砲兵工廠より幹部連一行來壤し鎭南浦へも赴きたる事あれば前現の事實を彼此れ綜合して市民は愈々平壤附近設置の確實を認めたるもの〻如く市內大に活氣を呈し居れり(平壤)

◎製糖株申込み 平壤

平壤、鎭南浦の有志四名が朝鮮製糖株式會社の指定的勸誘に應じ發起人株引受の申込みをなせるは既に報道したるが其後平壤大和町丸吉商會支配人柴川鈴三氏が甜菜糖事業は平壤多年の懸案なりしにも拘はらず今回漸く其解決を見るに迨んで發起人株の引受は指定三名中纔に一名に過ぎざるは南浦の三名に對し顏色なきのみならず市民が同事業に對する誠意と熱心の程度も疑はれ土地の面目に關するところ少々ならざるを慨し指定的勸誘以外なれども二三日前發起人として百株引受の申込みを爲したり(平壤)

◎耐火煉瓦製造計畫 平壤

京城の煉瓦商京谷萬藏氏外二三有志は耐火煉瓦の製造及び販賣に付き合資會社設立の計畫を爲しつゝあり由來京谷氏は煉瓦及び土管の製造販賣を爲し來りしが三年前より耐火煉瓦製造に從事し今日に於ては其原料たる土質を平安南北の各地に於て發見し現に鮮內各地の工場及び南滿の各地へ供給し居れるも近時工業の勃興に伴ひ需要の頓に增加せる爲め前記の如く合資組織の會社事業を爲さんとするにありと(平壤)

◎地方兩銀行決算 慶南の

密陽銀行は大正五年下半期決算は繰越金共利益金九千四百八圓を得諸積立金を除き配當年一割二分の割として四千九百六十四圓の後期繰越金を計上し又鎭南浦三和銀行の第一期十一月十日より十二月末に至る決算は差引純損三百二十三圓を生じ後期に之れを繰越したりと

◎兒玉伯より謝狀

曩に總督府總務局長より內閣書記官長に榮轉せる兒玉伯爵に對し當地官民有志者より記念として英一蝶の花鳥圖掛物一幅を贈呈せしことは既報の通りなるが今回同伯爵より荻田總務局長に宛て右寄贈者一同の厚意を感謝し永く家寶として愛藏すべきにより其旨寄贈者諸君へ可然傳達あり度旨謝狀到達したりと

◎松平子爵東上期

貴族院議員東拓理事子爵松平直平氏は議會出席及び重要社務を帶び十九日午後七時五十分發列車にて直路東上の途に就く由なるが其の歸期は議會の形勢如何により一定せずと

◎入澤石原兩氏の巡視

三日前より京城府內の各公立學校巡視中なりし入澤第一部長及び石原府第一課長は十八九の兩日巡視を見合せ二十日頃より再び巡視す可しと

◎池田長官引籠

遞信局長官池田十三郞氏は過般來風邪の氣味にて發熱あり官邸に引籠り中なるが道長官會議並に司法官會議等には矢野通信課長長官代理として出席しつゝあり

◎岡本北鮮日報社長入京

清津北鮮日報社長岡本常次郞氏は十七日夜入京京城尾旅館に投せしが二十日頃下仁の上東上の豫定なりと

◎奉天の紙幣

支那側最近の調査に據れば東三省官銀號發行の紙幣は九百萬元なりしも中國交通兩銀行の兌換停止後二百萬元を回收したれば現在流通額は七百萬元にて之が準備金は百五十萬元あり興業銀行の紙幣は一時五百萬元に及びしが段芝貴奉天を去りし以來陸續回收すること百五十萬元に達し現下の流通額は三百五十萬元にして準備金七十萬元を算す又殖邊銀行の紙幣は二百萬元にして準備金は一百萬元あり黑龍江官銀號分號發行の紙幣は六百萬元にして兌換自在なれば信用最も篤し華富銀行は新立に係り開業後數月に過ぎざるにより發行の紙幣僅少なるのみならず官憲の干涉甚だしき爲め其數額を詳かにする能はず中國交通兩行は共に千萬元內外の小洋票を發行し居れり近來之を大洋に引換ゆる方針を採りつゝあるも容易に完了せざるもの〻如し而して日本正金銀行現在發行の金券は四百五十萬六千圓銀券は五百八十三萬七千圓なれば奉天に流通する正金紙幣總額は九百八十九萬四千元となるべく之を去年の同期に比せんか金券二百八萬一千元を增し銀券百七十八萬一千元を增し結局一年中に三百八十六萬二千元卽ち十分の四を增加せる譯なり(奉天)

◎大阪より

▲昨今の石炭界

筑豐石炭各山元の採炭能力の如き大炭坑は坑夫雇入意の如くならざるを以て別段著しく增加率を示さゞるも小炭坑に於ては比較的坑夫の動搖なきを以て採炭量增加し居れる由にて炭價の如き保合の姿にあり運賃に至りては暴騰來に比し幾分低落を告げ門司橫濱四圓五六十錢を唱へ居る由近く三圓五六十錢に下押すべき趨勢なるも係船料は各船主の契約を急がざる關係上より自然傭船者の釣上げ氣味にて却って昂騰を演じ居れる由なり而して海外炭の如き旅順炭は昨年末より秦皇島結氷せると支那正月切迫のため採炭坑夫の休業と荷役不充分のため殆んど賣物なく又山東炭の如きは需要旺盛にして賣物少なく只さへ運賃騰貴のため引合はざる景況なりと因みに昨今大阪市場の貯炭高も著しく減滅せり

▲朝鮮と大阪貨物

朝鮮鐵道滿鮮直通大阪出張所設置後極力鮮滿地方行貨物の吸收を圖り且つ輸送取扱の案內に努力し居るを以て漸次收入增加を呈し居れる由にて十二月中の收入の如き前年同期に比し總計に於て頗る增收なるも朝鮮鐵道經由移入のものに限り幾分減少したるが同鐵經由發送貨物の旺盛を極めたる關係上貨物車の大部分を同鐵線に配車せられたる事情のため自然同鐵道輸送能力を發揮せざるため及び前局に配車の使用貨車不足を生じ充分の車調節のため發送側限したる等の事情によりたるものなるが昨今稍潤澤なるを以て豫定通りの輸送に努め居れるを以て逐次貨物の增加を呈するに至るべしと尙十二月中の收入を示せば朝鮮行貨物二百九十五噸南滿行一千八百十九噸東滿行五百四十五噸合計四千五百五十九噸なるが前年同期に比し朝鮮行二百二十一噸を減じ南滿行八百九十七噸を增加し東滿行百十三噸を減じ總計に於て五百六十三噸の增加なりと(大阪支局)

仁川

▲中旬船繰況 大阪商船會社所有船にして本月中旬仁川港に回航すべき者は八隻內外なるが積込豫想高は三萬四千八百叺にして大信丸伯州丸長州丸は何れも十八日出航の筈▲石炭益々缺乏 仁川に於ける石炭は日を逐うて缺乏しつゝ有りしが最近の貯炭高は僅かに四五百噸內外に過ぎざりしに撫順炭坑爆發の爲め大連より逆炭杜絕の入電ありたる爲め市內某石炭商は急に買占めに奔走し之と共に相場の吊上をなし其他の問屋筋も恐慌を惹起し貯炭の調節を計らんとする形勢にて或は十五圓臺を突破せしむるやも測られずと▲支那領事催宴 仁川支那領事張國威氏は十九日午後六時より楢野府尹與田商議會頭其他官民重立者十餘名を招待晩餐會を催す由▲株式募集打合 和田創立委員は十九日上京鎭南浦鶴崎氏と會合の上同會社株式募集に關し打合せをなす由なるが其結果或は鎭南浦に黃燐燐寸分工場を設置するに至る可けんも同會社の方針としては平壤鎭南浦の兩地を候補地として內定し居る由にて平壤に於ても有力者中には同地に分工場設置の條件を以て株式募集に應ず可き意嚮を有すと謂へば何れ和田鶴崎兩氏會見の上ならでは分工場設立地其他株式應募數等も具體的に判明せずと▲引込線利用狀況 仁川稅關構內引込線利用狀況を聞くに十二月中は發送四萬八千五百七十三個五千八百九十三噸到著二萬四千百八十二個二千八十九噸にて一月以降累計發送[illegible]

大邱

▲服部隊長出京 服部慶北憲兵隊長は廿二日より開會さる可き各道憲兵隊長會議出席の爲め十九日午後一時二十分の北行急行にて出京▲邱電點燈料割引 大邱電燈會社は點燈機械の完備する迄當分の間燈料二割引にて需用に應ずる事とせり▲記者團新年會 大邱在住記者團は十六日朝鮮民報社樓上に會合し新年會開催に就き協議の結果二十一日有志と共に新年懇親會を開催する筈▲松田義雄氏出發 今回東京銀支店次席に轉せる松田前大邱朝鮮銀行支店長は十八日午後四時五分發南行にて赴任せり見送多數▲竹崎府尹招宴 竹崎大邱府尹は廿日午後六時より第二芳千閣に於て官民有志百餘名を招き新年宴會を開く▲松田前支店長送別會 大邱公友會は十七日午後六時より第二芳千閣に於て松田前朝銀大邱支店長の送別會を開き會するもの五十餘名吉村商業會議所會頭の挨拶松田氏の謝辭了り宴に移り歡を盡し九時散會

浦項

▲港灣期成委員出京 慶北浦項は東海岸に於ける重要港灣なるに例年風雨の爲め閉塞されかくては地方の休戚にも關するを以て過日港灣期成同盟會集會に於て光成喜七福島伊平中谷竹三郞の三氏を陳情委員として總督府に出府せしむる事に決せしが一行は十七日大邱著十八日出京の途に就けり

釜山

▲穀物市場總會 釜山穀物市場にては十六日役員會を開きたる結果總會は來る二十六日開會の事に決定したるが同總會にては昨年下半期の決算報告及び役員の改選を行ひ組合員の積立金に對しては六分利子を拂戾す由▲鮮銀手形交換高 客年中釜山朝鮮銀行支店に於て交換したる手形は十三萬三千二百十八枚金高二千九百八十九萬八千四百八十一圓十八錢にて交換尻は百八十三萬三百三十一圓五十九錢に昇り一昨年度に比して五百〇四萬千百五十四圓八十九錢の增加なりと▲石井支店長上京 朝鮮銀行釜山支店長石井光雄氏は行務を帶び十七日午前十時三十分發急行列車にて京城本店へ赴けり▲繩叺製造組合 東萊の李致相及び釜山鎭の佐谷瀧太郎の兩氏發起となり三千圓の資本金を醵出し繩叺製造販賣組合を組織する由なるが組合員は六百株一株に付金五圓の出資を要するものなりと▲田村林學士 林學士田村剛氏は歸京の途十七日來釜釜山府の委囑に因り釜山公園の設計を爲すべく龍頭山公園及び伏兵山等を調査し同日午後五時より南濱町小倉庵に於て調査の大要を講演したるが尙設計書調製の爲め兩三日滯釜の筈なり▲生田課長視察 甘浦及び九龍浦に於ける鰊漁業視察中なる總督府水產課長生田淸三郞氏は十八日夜來釜十九日歸京の途に就き途中密陽に立寄り同地の養魚池を視察する筈

平壤

▲鑑定價格變更 平壤稅關出張所は例月の如く輸移出品鑑定價格を左の通り變更し十六日より實施したるが牛皮の鑑定價格のみは鎭南浦と同率なれど他は兩港高低あり

大豆(石)五六、九三 頭六、二七▲小豆(石)五七、七〇 六、九八▲在胡麻子(百斤)六、二七▲牛皮(百斤)荒皮大中五八、五〇 小四五、〇〇

▲小學校始業式 平壤公立各小學校に於ては十八日より授業を開始したり▲公會堂建設委員會 御大典記念平壤公會堂建設委員會は既報の通り十七日平壤府廳樓上に於て開催したるが來場委員十九名にして結局建設する事となり今迄の寄附金九千九百圓あるより今後一千圓を限度として寄附金を募集する事を議決して散會せり▲平農總會 平安農工銀行に於ては來る二十八日株主臨時總會第十七回定時總會を本店階上にて開催すべく附議事項は臨時總會に於て政府持株利益金無配當五年間延期に關し定款第六十六條但書の變更定時總會に於ては五年下半期貸借對照表損益計算書及び財產目錄承認並に利益金分配案の議決等也▲東亞の抽籤 客年十二月十日より一月十五日迄平壤東亞分工場にては懸賞付煙草販賣を續行中なりしが去る十八日平壤商業會議所樓上に於て警官新聞記者等立合の上抽籤を行ひたるが特等が八九八番一等二五一七番二等一七〇一番四四八〇番なりし

◎安東縣より

安東貯金銀行第十二期定時株主總會は十六日午後六時より公會堂に於て開會出席株主本人三十二名此株數一千零二十九株委任狀六名此株數五百八十八株合計三十八名一千六百十七株にて定刻專務取締役藤平泰一氏の昨年下半期の營業報告及び平尾監査役の報告あり滿場一致之を承認し次に左記利益處分案を原案通り可決し同七時閉會せり(安東縣)

一、當期利益金處分 一萬六千六百十四圓八十二錢

此處分

法定積立金	一千圓
別途積立金	一萬一千圓
營業用土地建物價格消却	三百圓
役員賞與及交際費	一千八百圓
株主配當金(年一割二分)	一千五百圓
後期繰越金	一千三百十四圓八十二錢

◎奉天より

▲高山參謀長行程

去る十二日夜行車にて奉天を出發したる高山參謀長は關原司令官と與に陶吉長道尹に隨伴せられて十三日朝長春著を發して吉林に到り孟督軍代理高參謀長及び商旅長、郭省長代理趙道長范廳問等に停車場に迎へられて直に軍署の午餐會に赴き同夜は又郭省長の晩餐會に招かれ十四日は日本領事館を訪問し午餐を受けたるが同參謀長は吉林を辭して更に鄭家屯方面に向ひ二十二日頃奉天に來著し其れより撫順炭坑電氣等の檢閱を爲す可し

▲吉長改約と請願

長春在留邦人の有志家等は吉長鐵道改約が該地の盛衰に至大の關係ある可きを以て(一)此次の改約交涉に於て速に圓滿の目的を達せんことを政府に請願すること(二)吉長鐵道を南滿鐵道と同一の程度に改良せしむる事(三)南滿鐵道線を吉長線に引入接續せしむること(四)吉林停車場に日本電報の公衆取扱を設置することの四個條の實行方を我官憲に請願することに決議したり

▲洮南に法廳準備

奉天省洮南は日支雜居地なるを以て奉天高等審檢兩廳長は去年錦縣鐵嶺及び洮南に地方法廳を設立せんことを司法財政兩部に申請し錦縣鐵嶺には已に完全に設立したるも洮南は未設立の儘なるを以て目下高等兩廳長は其設方を急ぎ居れり

▲中國銀行の營業

在東三省中國銀行の昨年中營業は大抵平穩にて奉天の如きは二十七、八萬元の利益を擧げたるも獨り長春は二十萬元位の缺損を生じたりと

▲紅窰炭賣行好況

吉林省北紅窰の煤鑛公司は夏季に於て採掘したる石炭を冬季に至りて吉林に輸送販賣するを例とせるが本年も既に賣出を開始し每百斤を三吊八百文に賣却し居れり價の廉なる割合に品質良好なりとて支那人間に賣行良好なりと

人事消息

▲マイニー氏(京城駐在英國副領事) 十七日午後內地より歸任
▲李弼均氏(中樞院參議) 一行三名十八日午前東上
▲大倉喜七郞氏 一行三名十八日午前本溪湖へ
▲岡本常次郞氏(北鮮日報社長) 十八日朝入京浦尾へ
▲內野久雄氏▲內山秀信氏(八幡製鐵所技師)
▲木間伴明氏(城北警務部長) 同上 十七日夜入京浦尾へ
▲阿部義光氏(同警部) 同上
▲葛原錢吉氏▲前原巖氏(鶴山技師) 十七日夜
▲白井水城氏(醫學士) 十八日龍山より入京同夜平壤へ

●舞の手、輕ろらに

奥様お孃様方の間に仕舞の大流行

京城の市街も日本建の莚に苔が生えて一年毎に内地風の都會に化つて行く、古雅な謡ひの聲が何處の巷でも聞かれる樣になるに連れて上流向きの家庭に仕舞の

▽お稽古が盛んになつて來た 此のお正月なども市中の處々で高砂や田村のお芽出度い處を見せて頂いたがまづこれ程氣品の高い古雅の香りの高いものはまたとあるまい京城の仕舞の先生には南山町一丁目巴城館の直ぐ上手に中川と云ふ老人が居る此老先生餘程現代とかけ離れて訪問すると光線の通しの惡い二階の一室に謡本を積み上げた床の間を背後にして翁面のやうな顔をしつゝお仕舞の稽古のお話を伺ひ度いと云ふと暖一暖しての話に

◇仕舞と申し候は

素舞の義にてお能略式の舞ひで御座る囃子なし又裝束をも著けずシテ一人袴だけにて舞ふもので御座るさあるを始めとして左右左の式から手、足、目の位置、足摺三足、四足進んで三足に開く等の六ケ敷い處から總じて京城に居る人達は頗る藝者の踊りがお好らしいが

▽老人の目から見ればその藝が丸れぬ一體師匠と云ふ者は好い加減のもので我々の目から見れば型の崩れた誤魔化しものであると慷慨の後私共の教へる仕舞は踊りとは違つて手の振方一つ足の踏所一つでも相違が有つては相叶はぬ儀で上つ方の御達までお嗜みであるとのこと目下の處のお弟子さんだちは廾人許り奥様と

◇孃様方が多くて

男は至つて少ない、一體昔の人達は謡お能などの稽古をなさる時はお師匠様何うか敎へて下されと三拜して參つた者であるが當今の人達は謝禮のお鳥目に物を言はせて師弟の禮儀を重じない人が多いと時弊を罵つた上で扨て京城にお出での方は皆なお栁巧で

▽お稽古など一寸〃上達が速かだ今の處でお上手の側は 柴崎さんの奥さんそれに草場さんの奥さん太平町の三井の孃さん南米倉町の佐々木の孃さんそれに田代の奥さん都守岡田の奥さん達で男の方の上手は杉山さん遞信局の森和三郎さんなどの殿原だが當節の殿原は夷狄の靴を用ひ足を上げて洋夷の風に歩み馴れて居るに由つてお能舞の足付きには

◇却々成り申さぬ

藝者も六七人參り居るが拙者は昔への白拍子と觀念致し仕舞の稽古を致して居る白拍子の内の上手は立花家の若春、辰中の笑子などは却々の達者でこれならば殿の方も行儀宜しかるべしと存じ申す仕舞の稽古は初心の者は熊野を始めとして田村、俊成大夫、蘆刈などの順に致し

▽三四ヶ月も骨を折らば少し位は人に見られても恥かしからぬまでには成るそれから月謝はどの位かと伺ふと月謝とは申さぬ謝禮と云ふてゐるで其が七日二度の稽古が月二圓三度の稽古が月三圓の定めで三人ばかり日稽古の人があり此の人達は月二十圓宛謝禮を爲る京城と東京は何彼と兄弟分のやうに申すが東京では

◇謡やお能の謝禮

を毎月二百金三百金と出す人が少く御座らぬが何にが京城には物の五十金も出す人は御座らぬその癖千金を抛つて賤しい藝妓を側室に致す人は少なく御座らぬと憤慨の口調恰度稽古に來たお弟子の仕舞を一つ寫眞に取らせて頂きたいといふと舞なるものは大名のするものであるから縞の衣裳をつけたところなどを取れては

▽一大事と容易に承引せず 拙方がたは左樣に物を輕々しく見て御座るがナカ〃の事拙者はこの陋屋に住ひ致しても心は十萬石、下人の穿く紺足袋、下人の締る兵兒帶などは曾て締めた事は御座らぬと力味んで、萬事新らしがりの京城の眞中に斯うした老人が古い正格な藝を敎へて住まつて居る事を如何にも不思議に思はせた

……蘇命路の紅は山を映して綠は波に……

羽衣の仕舞―佐々木泰子孃所演

●深夜の大爆音

釜山を騷がす

去る十六日夜十一時頃釜山土城町方面に當り轟然たる爆音起り夜半の寐眠を破りしが右は瓦電會社内に備へ付けたる瓦斯補助缶の幹線中に取り附けたる機關の一部に附著せる小缶の蓋が火力の過度なりし爲め俄然劇しく飛ばされしものと判明し其餘勢は更に同社の事務所及び倉庫内の硝子約三十枚を破壞したり同社の技師は直ちに馳せ附け本缶との聯絡を斷つべく瓦斯の流通瓣を閉止せし爲め幸ひにして大事に至らず從つて點燈せる市内の瓦斯には何等の故障も起らず怪我人も出さざりしが夜中の事とて一時は大騷ぎなりき

●砂金盜掘

六百餘名大擧して鑛區を襲ふ

全北金堤郡双坎面双坎里に於る金山鑛區は曩きに京城府居住閔鳳鎬外二名にて採掘許可申請中の處此程許可となり不日採掘に着手せん手筈となり居れるが早くも是れを聞き込みたるは遠所此所の不頼漢は客臘十四五日頃よりそろ〃と該鑛區を襲ひ盜掘を企て既に客臘下旬には總數五十名以上の賊一團となりて白晝堂々

▲斧を揮つて 盜掘を恣まゝにし居りたり是れを探知し金堤警察署に於ては早速警官を派して犯人逮捕に力めしめ居りたるが昨今に至り賊の勢ひ益々募り而も彼等は何處とも無く巧みに隱見出沒し夜深更に乘じ〃鑛區を襲撃しつゝあるが其數既に六百餘名に及び其鑛區を圍繞して大膽なる盜掘を爲し居れり一方金堤署に於ては巡査巡査補共に

▲力を合せて 是等の逮捕に力め居れども彼等は一朝官憲の姿を見るや否や蜂の巢を碎くが如く四方に散亂して巧みに姿を晦ますより容易に逮捕するを得ざるものあり然るに去月十七日全北警務部より齊田警視金堤署に警務巡視に赴き此の狀況を聞き直ちに嚴重取締るべく命じ且つ取締上の意見を述べたるより同署に於ては鑛區附近の

▲住民に對し 一切他人を宿泊せしめざる旨を諭したると共に一方京城の鑛主代理者を招致し懇諭を加へ直ちに鑛主に通報すべき事を命じたると共に同署よりも京城鍾路分署に囑託して鑛主に詳細を報じたるより過日鑛主の代理者來著したるも差當り如何とも施すべき術も無く取敢へず同署の援助を受くるに決せり

▲益々多きを 加へつゝある狀態にして彼等賊の手に於て盜掘したる砂金は之れを悉く各方面の市場に運びて賣却し居れるが賊の種類は殆んど附近の不頼者に多く或ひは金堤の在所及び全州の方面よりも襲來し居れりと

◇野鳥悉く凍死す

去る二日以來全北地方に大降雪あり扶安高敞の方面最も甚だしく殊に扶安地方の如き一時實に積雪一丈にも達せん有樣なりし由其後天候回復に從ひ漸次漸消したるも扶安街道の野も山も今尚三尺餘の積雪あり人馬の通行難澁を極め近年稀れなる寒氣にて扶安地方の山野に在る鳥類中雉、鶺の如きは殆んど悉く凍死し高敞郡邑内に於てすら雉の凍死する物頗々たり且つ又同地方に於ける細民の生活狀態の如きも下級勞働者に於て寒氣甚だしき爲め勞働の途なく或ひは燃料の缺乏するありて生活困難を感ずるもの多し

●闕門間の交通杜絶

石炭引船沈沒

闕門地方は十八日午前二時頃より西北の風強くして一時闕門間の交通杜絶せるのみならず米國汽船チャイナ號は風波の爲め港外に於て石炭引船と衝突し引船は沈沒せり(門司特電)

●謝罪料一萬圓

庖丁で威嚇す

忠南大田郡柳川面果体里居住の韓鳳履(三一)は其妻李姓女の死亡したるを同里の金基洛が酩酊して同女の病室に侵入したる結果なりと稱し昨年九月八日庖丁を携へ金基洛方に突入し之が復讐の爲め來れりとて家人を恐怖せしめ基洛の弟基鎬が兄の身の上を案じて同人に示談を申込みたるより之を奇貨とし然らば謝罪料として金一萬圓を提供すべしと迫り遂に基鎬をして金七百圓を提供する旨の證書を提出せしめ之に基づき同月二十九日現金四百圓を基鎬より捲き揚げたること發覺し公州地方法院にて同人は懲役八箇月の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴し來る二十二日判決言渡しある筈

●玄界荒る

汽船引返へす

玄界は西北の風吹き荒み波濤高き爲め貨物船御嶽丸は途中より下關に引返したり猶對馬丸も十八日夜釜山に入港すべきや未定なり(釜山特電)

●賭博に負けて

警察署へ自首

福岡縣早良郡鳥飼村生れ當時京城本町居住杉本頭之助方に帳場として雇はれ居たる松原庄助(三)は鮮人娼妓抱入れのため主金三百六十二圓を携へて去る九日大邱に來り元町吉田旅館支店に投宿し同旅館の客引林太郎事林七老(三九)の案内にて去る十三日夜九時頃東本町居住兵庫縣神崎郡鶴居村生れの古物商古家磨藏(四一)方に至り鮮人車夫大五郎及び外一名と共に四名にて賭博をなし結局庄助は金二十圓餘を勝ち午後一時頃旅館に歸りたり然るに磨藏は如何にしても取られたるが口惜しくて堪らず今一度勝負して先きに取られたるを取り返へさんものと再び庄助を呼び寄せ徹夜にて賭博をなしたるに磨藏は運搖くして又も敗けを取りその夜は別れ翌十四日午後九時頃庄助は大邱田町居住大分縣下毛郡阪崎村生れの左官中尾與一(三)方に赴き大分縣宇佐郡佐田村大字佐田生れ當時大邱田町塗物職永松與一(四六)福岡縣嘉穗郡山野村生れ當時大邱上町居住大工小松甚次香川縣三豐郡紀伊村生れ當時大邱大和町石井仙太郎(三九)等と共に豆札を弄し徹夜にてカブと稱する賭博をなし結局庄助は負けて百三十餘圓を取られたるにぞ同人は斯くなりては京城に歸り主人に顔を合はす事も出來ず四苦八苦し紛ぎれに大邱警察署に賭博の自首をなしたるより一同大邱警察署に引致され庄助は横領及び賭博中尾は賭博幇助其の他は賭博犯として目下取調べを受居れりと

◇綿雪が三寸

京城には珍らしい

十七日朝から少し宛降つて居つた雪は同日午後四時五十分頃から烈しく降り出し其後も斷續して降りつ十八日午前七時五分に全く降り止むで約三寸の積雪を見た先づ京城としては大雪の方である上に十七日から氣溫が騰つて居つた爲め京城の雪としては珍らしく何時ものザラ〃した氷雪ではなく綿雪であつた爲め下駄などにもよく溜まつた此の雪を降らせた低氣壓は十七日の朝支那山東方面から出て來て滿洲及び朝鮮の國境地方の副低氣壓と一緒になつて京城附近を銀世界に化へて朝鮮半島を横斷して十七日午前中に浦鹽の南方へ拔けて居る其の後へ滿洲に高氣壓が起つたので天候はスッカリ恢復して多少寒氣が強くなる筈であるが今度の高氣壓は十七日正午頃まで差して優勢でなかつたから烈しい寒さはなからうと思はれる(京城測候所長談)

雪搔き 十八日正午朝鮮銀行前にて

◎公金

三千圓燒失す 面長拘禁さる

慶北迎日郡滄州面事務所より去る十二日午前二時頃出火遂に事務所全部を燒失せるのみならず地稅徵收其他の公金二千九百八十二圓行衞不明となり建物の損害約五百圓なるが出火の原因に就き面長安鎔奎(三五)は放火及び公金竊取の嫌疑にて目下浦項憲兵分隊の手に拘禁訊問中なり同面長は平素身分不相應の贅澤をなしつゝありと(大邱)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽謎『寒暖計』とかけて

▲咽喉科の醫者と解く 心は日々咽喉(の度)を見る 京城 長谷川うつし

▲軍隊の高級集會所と解く 心は昇降(將校)を見る 龍岩浦 一二三

▲小供にお土産と解く 心は華氏(菓子)を多く用ゆ 龍山 芳垣拾也

▲職員錄と解く 心は見れば寒暑(官署)がすぐわかる 京城 大内竹園

▲土俵掃と解く 心は音頭(溫度)に連れて上下する(先著) 龍岩浦 海坊子

▲漢學者と解く 心は漢書(寒暑)が克く明る(先著) 京城 愼齋

■一等なし

◎憲兵隊の擊劍會

京城憲兵分隊にては十五日より小山分隊長統裁の下に管下各分派遣所長會議を開會し午後は擊劍會の開催ありたり

◎太刀山 十八日朝州春場所六日目太刀山に栃木山の勝負手捌きは左記の如く訂正の電報ありたり太刀に栃木は立ち上るや右四ツに組み栃木の寄るを太刀左より小手投を打ちつゝ右に廻つて吊り出したり

灯ともし頃

▲此頃は警察の寒中の假設犯人搜査演習が流行る▲全州署では十七日の晩かけて萱野署長以下總出で全市を包圍搜索したが老母に扮した本物の妓生と伸を並べて走らせた一刑事だけが非常線を突破することが出來たさうだ女と見て氣を許したからだらう▲話かはるが大邱の東門附近に毎晩怪しい男が現はれて通行の婦人に怪しかる振舞に及ぶことが屢々なので▲一巡査が十五日の夜九時頃東コートにショール、丸髷姿に變裝して寂しい通りを歩いてゐると年の頃二十七八歳インバネスを著込んだ男が出て來て『奥樣々々』と呼びかけ▲肩に手をかけ一二間ズル〃と引張つて行つたので時分はよしと失庭に組み伏せ捕縄をかけやうとしたが何しろ著なれぬコートに行動思ふに任せぬ▲隙を覗つて曲者は逃げ出したさうだが出齒龜の力でも命懸けの職業だと肝を冷やしたことだらう兎角女と見たら油斷するな

●盛んな鏡開式 平壤在郷軍人分會武道部鏡開式は十五日午後八時より[illegible]り終つて橋都分會長の挨拶篠田聯隊區司令官の會員に對する訓示あり其[illegible]閉記者其他有志數十名なりき(平壤)

●連絡上座客 十六日午後九[illegible]二等客 一等(四名)梅田輝、中山高吉、伊藤四郎、[illegible]

▲解文 風強かるべし ▲低氣壓位置 日本海中部 ▲低氣壓示度 七百四十八耗 ▲進行方向 東北東 ▲記事 [illegible]

讀者文藝課題及び募集規定

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は[illegible]

天氣 晴れ (十八日午後六時發)

舊暦十二月二十六日 西暦一月十九日 [illegible]

日出 七時五十四分 日入 [illegible]

〔演藝案內〕

京城壽町 電話五七八番 壽座

△一月十八日替り藝題 前 源平布引瀧 義賢より物語りまで 中 双蝶々くるわ日記 引窓の場 切 勸進帳 此段當地藝妓出勤

▲出勤藝妓人名 辰中内小六、お辰、玉菊、小蝶、智惠子△富美の家、久子△花房丸奴

▲階上階下へストーブ五本設備致候間場内は極々あたゝかです何分御安心の上御來場願上候

御成町 電話二九一 御成座

第十六回藝題 全九場 十二ケ月鬼と佛

若名太郎左衛門(天野)西山の娘つゆ子(甲見)西山要長(白根)藤巻小紋(平松)聟間僕六(今村)惡漢源次の小分おかめの長太(川上)若名太郎左エ門の次男若名次郎(藤原)[illegible]

京城壽町 電話一〇五〇 壽館

◎獨流浪花節教育的讀物 △一月十八日より開演 ▲吉原百人斬(原辰男)▲一休和尚(吉川辰美)▲旅鴨の花、水府公長講二席(原晴風)▲義烈百傑長講二席原晴夢

本町五丁目 稻荷座

十八日の讀物 毎日出演者讀物毎日續 ○義烈百傑(竹川一夫)○いかるが治(廣澤廣駒)○日露戰爭餘聞(京山光若丸)○柳生旅日記(藤川粂春)○名作左甚五郎○曾我物語(親友派若手花形竹川馬生)

明治町 電話二六〇 浪花館

▲東京落語柳連雷門助六一行 △一月一日より毎夜五時開演仕候 [illegible]

櫻井町 電話八七三 大正館

一月十三日より第三次特別大寫眞 ○實寫 獨逸の風景 ○喜劇 求婚の策 △佛國エクレール會社傑作 探偵大活劇 夜の世界 全三卷 [illegible]

早川直營 電話二六三七 黄金館

天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店

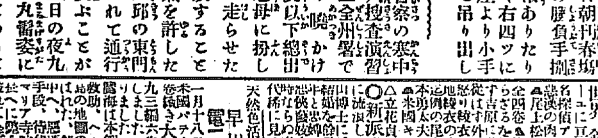
一月十八日より新提供 米國パテー社作世界的連續寫眞全十二篇廿四卷續き大冒險大活劇第四魔海第七第八篇 [illegible] ▲米國キーストン會社作 滑稽活劇兩成敗 二卷 ○新派大悲劇 返り咲き 全四卷 [illegible]

小資本を以て急速の成功を得可し

特約店

一村一名限りの特約組合店及莫大の收入ある二十郡獨占支部募集返券入照會次第成功の手引たる營業案內進呈 東京神田萬世橋際 日本通商聯絡株式會社

朝鮮總督府許可



内用精能 効 神經衰弱、神經痛、老衰、痔病、子宮病、胸病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

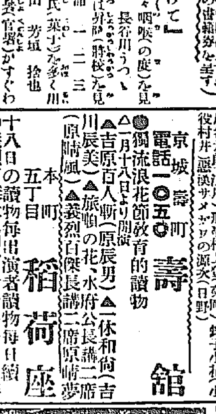
外用精能 効 神經痛、痲痺、貧血、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩の凝り、時に筋の張り等によし

定價 [illegible]

人蔘直取引大販賣所 滋養藥 人蔘エキス 朝鮮名産 藥餌一切 製造本舖 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一〇番

支店 龍山支店 大邱支店 釜山支店 龍山元町二丁目 京釜線大邱驛前 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番

其他全道の藥舖に御座候萬一藥舖に無之地方は直接本舖に御注文次第發送可仕代金は振替にて御依る事が最も安全且つ御便利に候 本店支店共市内は一報次第配達仕候



八木田博士御處方 島田博士御鑑査

アナタの胃病には マーゲン

本劑の特色 [illegible]

八木田醫學博士御處方 島田藥學博士御鑑査 強胃消化錠

大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

京城府告示第一號 京畿道高陽郡漢芝面新堂里所在京城府新堂里火葬場改築ニ付當分ノ間其ノ使用ヲ停止ス 大正六年一月九日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

●告 香川縣人 新年宴會開催致度に付奮て御參會被成下度此段廣告仕候也

日時 一月二十日午後三時總會開始 午後五時開宴

會場 京城南山町一丁目松葉亭

會費 金貳圓當日御持參のこと

申込所 京城明治町香川縣人會事務所 同 朝鮮實業會社(電一一三三) 同 南山町荒木半太方(電一〇八三) 一月十八日迄

香川縣人會

◎興味深いヴオレーボール
鐘路の基督教青年會館にて

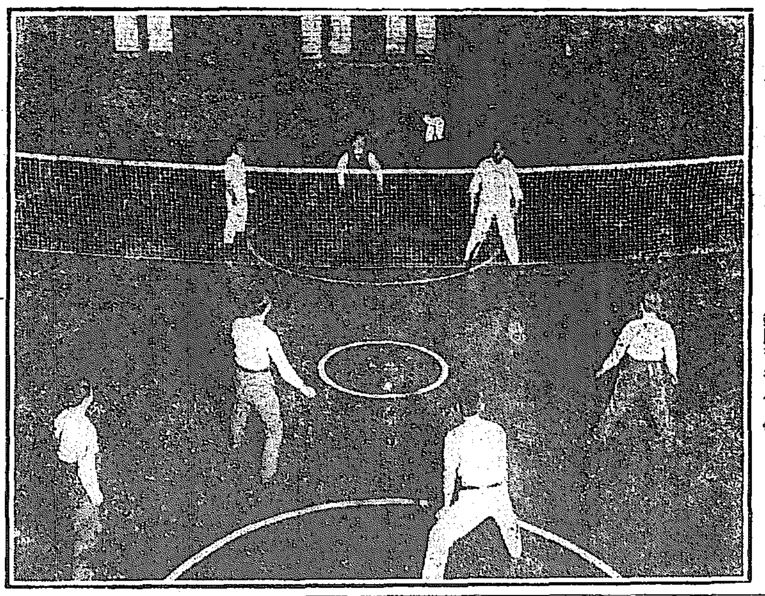
鐘路の基督教青年會館ではこのごろヴオレーボールといふ遊戯が試みられつゝある毎週水曜日と土曜日兩日の午後五時から七時までは内地人側の有志が

◇襯衣一枚で ワイ〱云ひながら競技に耽つてゐる、中には丹羽清次郎氏なども大元氣で青年者と一緒に熱中して居るが此の競技は大人にも子供にも婦人にも誰れにも出來てそれにちつとの危險もなく人數の制限もなく非常に面白い、現に南山の高等女學校からも先生が見物に行かれるとのはなしであつたが希望者は見物に行かれるがよい、尤も

◇青年會館で は二階の大廣間に遊戯室といふのがあつて煉瓦で圍むだ上には見物席まで設けてあり且つ床は頑丈な板間となつてゐるから此の遊戯には實に誂へ向きに出來てゐる、而して野外でも決して惡くはない、室は幅六間長さ七間の四角な中にテニスコートのやうな線をひき網は地面から

◇七尺五寸の 高さに張りこれをテニスのやうに兩側から球を投げ返るのであるしかし球は蹴鞠大の大きなもので決してラケツトなどを用ゐるのではない唯だフウトボールを手から手へ投げまたは投げかへすのである、そして決して足で蹴るとや兩手の拳を用ふるを許されぬ、必ず兩手の掌ではね返さねばならぬそれで始め

◇撃ち出す人 は後方の線に踵をかけ右手の掌でポンと球をうつのである、而して若し球が網にかゝりて失敗した際には再び繰り返すを得る、斯くて首尾よく球が網を越て敵の中に飛びこむと受ける方では球が地面に落ちぬ間にポンと掌ではね返すのである——此の時兩手を用ゐても差支なし——能しバウンドをついたら敗けとなる、また球が線外に跳ねても



ヴオレー、ボール
鐘路青年會館にて

◇駄目となる 斯くして勝敗の點を相殺しつゝ廿一點得つた方が勝となり、毎次勝つた方が撃ち出す方になるのである、尤も規則は如何樣にも勝手に定められるが兎に角面白い遊戯である

◇道路に灰を

十七日降雪ありし仁川市中は夜來の降雨全く氷結して道路は殆んど鏡の如く危險甚だしかりし爲め警察署にては署員を戸毎に派し塵芥及び灰の類を道路に撒布させたるを以て午前十一時頃迄には道路の一部は幸ふじて行通する事を得たれ共一時は極めて危險にて路上轉ぶ者多く何れも戰々恟々たりし午後に至りてより天候恢復して氣温も亦騰昇したるを以て自然解氷すべきも本日中に全然解氷し了らざる場合は明朝は更らに路上の危險を增す可ければ各戸にては此際道路に砂、灰等を撒布して行通の便を計る樣注意ありたしと

◆勅題巻きの結びやう

近頃、女學生間に勅題卷と云ふ束髮の結び方が流行つて來ましたが、これは今春の御題

◆遠山の雪 に因んだ結び方で、俗にS、M卷と申て居ます。即ちSは雪の頭字を取つたもの、Mは山の頭字を取つたので

◆結び方は 誰にも出來る極簡單な、而して上品なもので御座います。包は成る可く詰て前髮をふつくり出し、根本の毛を

◆前の方へ 解かしながらSの字に結ぶのですが、從來のやうな縦のSでなく横にSを巻くのです。而してそれを

◆一時三本 のピンで止めておき、別に一尺五六寸程の長さのばらみのを、三つ編みて組んで、横Sの上へ

◆左りの端 から細ピンで綺麗に止ながら、M形を造らへて行くのです。それから最一つ結び方は、二十歳前後から

◆二十八九 歲の婦人方に極上品なものですけれど、巻き方が少しむづかしいやうです

◆先づ普通 の束髮を結ふやうに根元をこしらへ、右を少く、左を多くするやうに二つに分け、少い右の毛を

◆銀杏返し を作へるやうな形にして、先端の毛を左の毛の後へと出し、左の多い毛は前の方へづつと冠せながらとかし、そしてそれを銀杏返しの

◆輪のやう に加減しながら、其裏毛の後へと出すので御座います。それと反對に左の輪の裏毛は右の後へと出し、此度は左端と右端とを二つに結んで、左の輪の下をくゞらせ

◆上の方へ と拔き、それを右の輪の下へ巻きつけて左から來た先端は右の輪の中に取つて右に巻きつけるので御座います。すると六つの角が出來て

◆六つの花 即ち雪の意に通ふ形がこんもりと出來上るわけで御座います。

急告

從來元山の京城日報販賣は通信員北川一をして取扱はしめ居候處今般都合に依り
元山本町三丁目 電話二六二 振替口座京城二四四一 西 益三
に變更致し廣告代理部等の事務をも取扱はしめ候に付此段急告候也
追而一月分の新聞代廣告料金等は一切同店に御支拂下さる樣願上候
合資會社 京城日報社

[illegible]…道館投の型あり續いて少年組青年組の亂取りを行ひ劍道模範稽古に移り勇ましき竹刀の音場外に響き渡れ…打ち午後九時…日の來賓は篠田一部長富永二部長赤木中學校長田中商業校長久松子爵等…すが子、小澤清一郎、裕順和、竹中ぬつ、中尾[illegible]次郎、松永萬里、三等（四十八名）[illegible]、山下五選、佐野源平、中部勝吉、磯田正介、三等（百四十三名）

十七日午前九時三十分釜山入港新羅…

◎暴風警報（一月十八日午前十時）

商況

東京公債直取引（後場）十八日出來値
五分利 九四、七〇 五分特別 — 一回四分 八二、五〇 二回四分 — 甲五分 九四、六〇

深川在米特電 十八日現在高
朝鮮米 一三三、二九二 内地米 八〇、〇一八 地廻米 一、五九八〇七三

東京期米特電 十八日前場 三月限
寄付 七、三六 高値 七、四〇 安値 七、二三 止め 七、一三

大阪期米特電 十八日前場
當限寄付 一五、六五 中限寄付 一六、〇三 先限寄付 一六、七一 止め

下關期米特電 十七日前場
寄付 高値 安値 止め 當限 中限 先限 [illegible]

雜報

◎麥粉は安氣配 麥粉は原料小麥安による内地製粉の低落に連れ滿洲粉又之れに脈されつゝあるの傾きにて昨今の氣配は各葉とも通じて安樣樣なり市中賣値としては滿洲粉鯛標二圓八十錢内地粉ダイヤ十錢見當に…

弛めたり賣行 弛さは此處…

弗々舊正需要 ありと雖米價の高低位にあり…

約十錢方引 …

◎哈爾賓粉は値段の折柄共他新規輸入中絶の姿にて昨今幾分の持越品存するのみなり

◎安州炭入荷す 朝鮮無煙炭株式會社經營安州炭の如く明治鑛業株式會社十七日夜南大門驛に到着したるが一般に品質の新柄と一兼分の品とて忽ち賣り盡して尚ほ得たする後荷を待ちつゝある

粉炭三千噸、平壤に 約二千噸の貯炭あり

切込炭二千噸

沿線各地に配給 …

一千噸位 …

幾分緩和 …焦眉の急…

◎砂糖依然持合 本品は共後格別の變動なく會社側は相變らず強硬の態度を革めず…

五十錢處 …十三圓四十錢…

仁川筋 …

◎木炭更に高し 木炭は大體入荷薄の上昨來の…驛値の七十…

◎仕入服好況 …

割位の賣上増 …各二割以上三…

田舍送り品多き外 …

鮮人の需用年々增加 …

仁川米豆取引所仲買人
⑬ 仲買店 電話二八〇番 一八三番

平年より四五割高 …

値段尚上向 …

下關相場 …

四五錢となり小賣も根炭の八十五錢引上
…小賣値の一圓近くは免かれざるべし

◎油と油粕類 …

約一圓落

五圓方の下落

各自に持越 …

籾買入
京城南米倉町
龍山精米所
電話二二四番

◎龍山精米破約 …

京城正米 …
△朝鮮白米 △平澤大豆 △新義州大豆 △同 △元山大豆 △同 …

南大門の廻穀 …

仁川現物市場 △粗入津なし △正米入津なし △大豆入津なし 氣配依然弱保合

釜山市場 十七日 …

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人
海岸町三丁目
電話三〇九番 長九一二番

生魚市場 …
京城魚市場 …

仁川期米 …

△十八日前場 兵庫前寄十六 …

大阪天候小雨

前寄十六圓七十一錢と昨止より四錢高 …

太阪二節六十七錢と小安き移り …

大阪六節五十九錢七 節五十一錢と暴落 臨時入電に十三圓を突破し十二圓九十五錢と押 …

跳ね返し …十二圓〇一錢と

市場雰聞 …

又復下げ漲る …

前場の手振 …

存外賣物拂 …

㊦の商内 …

中限解商内 …

中限五千石 …

解合商内行 …

結局保合ひ …

結氷と麥作 …

市場閑散 …

在庫品調査 …

仁川米豆取引所 十八日の三月限
寄付	十三圓一四錢
止め値	十三圓一五錢
高値	十三圓二十五錢
安値	十二圓九十五錢
出來	一萬四百五十石
前場平均値段 一節	十三圓四錢
二節	十二圓二錢
三節	十三圓〆
四節	十二圓九十九錢
五節	十二圓九十八錢

レート
宮内省 皇后宮職 各宮家 御用命
レート齒磨

芽出度い初春を迎へて
レート齒磨愛用者は
お齒が愈々美しく愈々强健で
眞に最高最大の幸福!!

レート白粉 レートクレーム レートフード レート椿油
本舖 東京 平尾贊平

實用英語夜學會
會員募集
一月十六日より毎週月、火、木、金午後七時半開始
△會場 旭町二丁目日本メソデスト教會内
△事務所 旭町二丁目三十六番地電話二五六五番

朝鮮總督府囑 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話
定價金八拾錢 郵税六錢

受驗者必携の資料◉袖珍總クロース四百頁頗美本 江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解說者たり是非一本を備へられよ
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

赤門印 人參規那鐵葡萄酒
貧血、衰弱、疲勞、婦人病に好飲料
赤門印葡萄酒發賣元 大阪道修町 小西商店洋酒部
到る所の藥店洋酒食料品店にあり
類似品あり御購求の際は赤門印人參規那鐵葡萄酒と御指定を乞ふ
朝鮮代理店
京城 新井大藥房 電話九〇四番 振替京城一〇六番
同 明治屋 電話二一二番 振替京城四四番
平壤 森田藥舖 電話一三九番
仁川 井上商店 電話八六番
釜山 本嘉納 釜山倉庫部 電話三二一番
同 あつまや商店 電話三五八番

丈夫な!! 丈夫な 二重底の
ヤマト萬年靴
特價 一號四圓 二號四圓五十錢 三號五圓
別製 二圓九十錢
ヤマト萬年靴は何故强い? 丈夫なるべき點に思ひ切つて良い材料が使つてあるから
ヤマト萬年靴は何故安い? 丈夫一方に全力を注ぎ無駄な費用が一厘もかゝつて居ないから
是非〱御試用あれ ヤマト萬年靴を
東京神田和泉町 ヤマト商會 振替東京三四一八六

懷中要藥 清心丹
主治効能 腦カタル、胃カタル、消化不良、過食、船車酒魚肉の酔、腸胃貧血、日射病、精神疲勞、咽頭カタル、口臭、口熱、齒痛、氣管支カタル、其他咽喉濕潤、口中清涼、精神爽快、消化器病豫防等の目的
說明 下痢、吐瀉、胸腹痛、溜飲、宿食、惡心嘔吐、頭痛、眩暈、船車酒の酔、中暑、氣塞、咳嗽、口臭、口熱、齒痛を治し、咽を潤し、口中を清涼にし、氣分を爽快ならしめ食後少々に服すれば消化を輔け胃腸病を豫防す
定價 三十錢 五十錢 一圓 …
本舖 東京市日本橋區元大坂町 高木與兵衞

鑛山營業
各種鑛石買入 重石買入
Ⓚ 金石商會
京城鐘路二丁目九九番地 電話一八九九番
▲鑛物定量分拆 ▲鑛山測量製圖

明君道中記

第三十三席　田邊南龍口演

家光公は　家『今度は予が致すぞ』と前後を見て居らせられると向ふから來のが職人體の男、仕事先で馳走にでもなつたか一杯機嫌、ヒヨロ〳〵と千鳥足で鼻唄を唄つて行き過るを　家『待てッ』と顧眄く所をエイと一聲驚けて首筋を掴みアッと驚くのを肩に擔いで投出したから何ぞ堪らん夫へ倒れて目を廻す　家『却々骨が折れる、然し今晩は兩人にいたして置う、又明晩參らう』と仰せられて其儘御歸城になりました、夜が明けると新見伊賀守の屋敷前に二人、打倒れて居りますから、新見家より此の事を町奉行加賀爪民部少輔へ訴になりました奉行所より役人出役に相成り之れを見屆けてそれ〳〵介抱の上引渡して此の事を民部少輔へ申し出ると、加賀爪は大層憤り　民『偖は物取りにあらずして、恐くは番町邊の旗下の次三男が未熟な腕前を以て試し斬などいたさんとしたものと見ゆる、今晩自身に出張いたして若し見當らば召捕てくれやう』と其夜手附の者七八人を召伴れて民部少輔は九段牛ケ淵近傍へ出張いたし彼方此方と見廻つて居りまする、かゝることゝは知らず家光公は相變らず四人の者を伴れてお出なされ新見家の屋敷に參つて往來を見て居らせられまする、處へ民部少輔が來かゝりました是を見て　家『コレ〳〵運四紋太、彼處へ大勢の武士が參つた樣子、大勢程宜い、兩人出イ　紋『恐れながら餘り大勢でございます故お見合せ遊ばされては如何でございます　家『白痴たことを申すな、大勢じやと申して恐るゝことは無い、若し手に餘らば予が出て遣はす、早う出イ　紋『ハッと仕方がない紋太郎運四郎の兩人が腕卷りをして其處へ駈出　兩『汝等待て』と飛んで出ると民部少輔　民『偖こそ曲者出たり、汝等此奴を召捕れと下知をいたしましたゆゑ手附の者共手に〳〵十手を取て○『御用〳〵と云ひながら兩人を取圍んで打つて來る、紋太郎運四郎は危くなつて後へ〳〵と退る　家『左京金左共方共も出で運四紋太を救へ』と仰せられましたから左京亮金左衛門も其處へ飛出して打つてかゝる、民部少輔は聲を張上げ　民『手餘らば斬捨ても苦しうない、斬てしまへ』と下知をして居るを御覧になつた家光公　家『何じや斬捨ろ、怪しからんことを申す奴じや如何さま彼は大將であらう、予は此の中の大將である故大將同士一騎討をして遣らう』宜い了見なお方で、民部の後方へ廻つて物をも云はずエイと一聲叫び、刀の背を返して打つて懸ると流石に民部少輔、ヒラり體を轉じ持てる鐵扇を投付けた儘　民『曲者ッ』と云つて拔打に斬付けて來る、チャリン〳〵と二三合打合つて居りました處忽ち家光公の刀を其處へ打落しましたから小手下を掻潜つて民部少輔に組付いた、民部は刀を打捨て引組んで暫時押しあつて居たが、忽ち家光公を其處へ組敷て上に跨り　民『汝曲者、斯くなれば汝の命を取つてくれる　家『民部免せ　民『何に民部免せ、偖は此方を存じて居るのか　家『知つて居る處ではない予じや〳〵』と云はれて民部少輔氣が附いてその者を見ると此の予と云ふ言葉は下方の遣ふ言葉で無い、下々の者が予だ〳〵と云つた處が通らない、上つ方が遣ふ樣になつて居りますから民部少輔は能く〳〵見ると西丸大納言殿でありましたから、ハッと驚き飛び退り兩手を支へ　民『西丸樣とは心附ず無禮を働き恐入ります、此のお詫には民部切腹仕ます　家『イヤ〳〵民部切腹には及ばん決して咎はいたさんから此の事を口外いたすな、彼處に居る紋太郎運四郎が危い故止めてくれい』民部少輔は左右に引分けて自分手附の者を召伴れて道々の體で逃歸りました

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話西一九番

入院隨意
京城南大門通三丁目（鈴木商店横入る）
胃腸病院　電話一六五九番
院主　佐々木杏造

婦人科　産科
二宮醫院
京城吉町四一
醫學士　二宮亮吉
電話一二〇一番

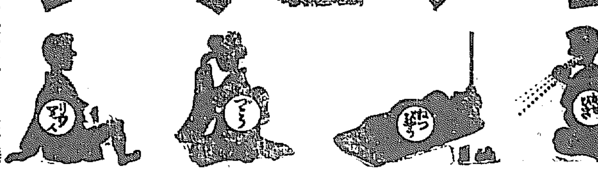
一月二十日　九星
舊十二月廿七日　壬戌
本命　五黄　八方納　友引

▲五黄●　治りのつかぬ晴れる日新事見合　南方は吉勝負なし▲六白●　腕押のきく日　轉居入學會談[illegible]名弘造船求職[illegible]試驗を受る等萬吉▲七赤●　[illegible]の日轉居旅行　商[illegible]求職[illegible]婚[illegible]を求る等萬吉▲八白●　心忙敷日諸附て新事手控事は吉　女子は行儀を守らるべし▲九紫●　達する亊有る日轉居開業[illegible]吉　女子の獨立自營を計るに妙也俗人來る▲一白●　辻褄のあわぬ亊有る日新事手控事は吉　紹介請印等せぬがよし▲二黒●　女難散財用心の日新事手控事は吉　買物に用心せらるべし▲三碧●　詮なき爭を釀さんとす謹で新事手控事　開談は妨なし▲四緑●　平運の日物の準備を爲は吉新事手控事土工は妨なし

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社　寫眞製版部

開業御披露
今般私儀龍山彌生町元開盛樓跡を引受け大黒樓と改め開業仕候間舊に倍し一層御引立の程奉願上候　敬白
龍山彌生町（元開盛樓跡）
大黒樓
堀岡隆平
電話三四三番

かぜねつに
一番よくきく
キナピリン



●キナピリンは現代に於ける最新藥にして最も進歩せる解熱藥なりと大方の歡迎を受けつゝあり
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
定價　二包入拾錢　五包入廿錢　八包入三十錢　十五包入五十錢　三十二包入壹圓
本舗　大阪市堂島元船橋　高橋盛大堂藥局
發賣　同心齋橋筋博勞町　高橋盛大堂分店
同　東京市神田柳町　高橋盛大堂出張所
●到る所の藥店に販賣す

外科　皮膚科　瀨戸醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀨戸潔
（電話二四九八番）
診察夜九時まで

毛髪の衛生に適し其の色澤を漆黒艷麗ならしむる
○ミツワ椿油（みつわ・つばきあぶら）

MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) Oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 20 Sen, 30 Sen and 55 Sen.

本品は新鮮なる椿の實を以て精製したるものにして、從來の製造法を改良し、悉く皮膜を去り、強力なる水壓機にて冷壓法を用ひ、些少の熱をも加へずして搾取せる純良なる椿油なり、本品は普通の椿油と異り毫も苦味を含まず、透明無臭にして、毛髪の發育を助け雲脂の過剩を防ぎ、色澤を艷麗且つ漆黒ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂を除き、臭氣を發することなく、裂毛折毛等を生ずる虞を去り、漆黒を貴ぶ本邦人の毛髪に最も能く適應する理想的完全の毛髪油なり。

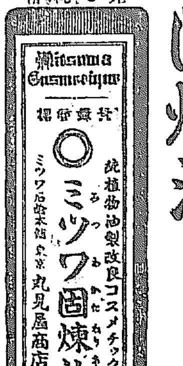
定價　小壜……金貳拾錢　中壜—五勺入……金參拾錢　大壜—一合入……金五拾錢　罐入—五合入……金貳圓五拾錢

（現品縮寫圖）

最新の科學を應用して精製せる理想的鬢附油
毛髪に附けて白くならぬ純植物油製改良コスメチック
○ミツワ固煉油（みつわ・かたねりあぶら）
定價金貳拾錢

MITSUWA COSMÉTIQUE.
Mitsuwa Cosmetic is made by experts through a special process from carefully selected Mitsuwa Camellia Oil. It contains no grease nor injurious substances to the hair. Moreover an exquisite fragrance is blended in it. It possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Price 20 Sen.

本品は最良無比の毛髪油として定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎とし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊嶄新の方法を以て之を硬化せしめ、温雅なる芳香料を加へたるものにして、本品は從來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髪を汚さず傷折毛裂毛を生ずる憂更になく、毛髪の發育を助け榮養を良くし、其の色澤を漆黑艷麗ならしめ、容色に一段の美を添ふることを得、即ち本品は一般家庭に推奬すべき實用的美髪料なり。


（現品縮寫圖）

本邦人の毛髪に適する模範的光澤香油として馥郁たる芳香料とミツワ椿油とを以て構成せる
○ミツワブリリアンチン

MITSUWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Prics 30 Sen and 50 Sen.

本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合し、倚特殊深奥の技工を施して創製したるものにして、男子の頭髪を分くるとき又婦人束髪の際、本品を振盪して用ふれば、毛髪諸症の禍原を除き、更に毛髪の榮養を良くし、其の色澤を漆黒艷美ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與へ、能く頭脳を清新ならしむることを得、即ち本品は毛髪の眞美を發揮するに缺くべからざる模範的美髪料なり。

定價　金參拾錢　大壜　金五拾錢

（現品縮寫圖）

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號○ミヤ、振替貯金口座東京七一〇番
電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

外科　内科　一般花柳病科　一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）
島崎病院
電話二七三六番

大日本優等清酒
ハックツル

品質純良　衛生無害
攝津灘御影町
醸造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地
發賣元　前田酒店
電話一三七番
振替口座四二五番

眼科專門
入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

◆寶田石油株式會社代理店
◆帝國麥酒株式會社代理店
◆大日本鹽業株式會社代理店
◆再製鹽製造販賣
◆原鹽直輸入販賣
◆阿里山檜材朝鮮一手販賣
◆雜穀賣買

合名會社　鈴木商店京城出張所
京城本町三丁目
電話長二二九〇番、長二九二四番

釜山出張所
釜山本町二丁目
電話長七六二番

仁川出張所
仁川本町二丁目
電話長八三番、八五六番

京城
朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話（振替貯金口座京城三三一番）（一三三一、一三三二、一三三三、一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三）
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城日報
一月十九日
(夕刊と合せて八頁)
第三版
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

京城日報
總參謀本部案

佛國議會の戰爭委員會は、過般聯合國間に、共通の參謀本部を設置せん事を主張し、且聯合國の各參謀本部の承諾の下に、總司令官を任命し、必要の場合に、各國の軍隊を統一せしむる樣、佛國軍事當局者に勸告するの建議をなせりと、巴里電報は報じぬ。佛國軍事當局者が、果して此の建議を容れ、聯合各國亦之に贊し、聯合軍は茲に新たなる、此の統一の下に、更に戰爭に努力するや、否は、未だ不明に屬すと雖も、抑も此の建策が、現下の戰局上、必要なる方法なりやと云へば、聯合軍に執りては、時宜を得たる、理想案たることは勿論にして、聯合各國の、軍事當局者も亦此の趣旨には、反對する者なかるべし。

今試に既往二年間に於ける、交戰國間の、戰況を見るに、獨墺軍が、常に聯合軍に比して、優勢なる戰果を收め來りたるは、之れ即ち獨墺側には、充分なる開戰準備の、存じたるに因るは、勿論なれど、獨、墺、勃、土の同盟軍が、獨逸を盟主と仰ぎ、其の軍事當局者の下に、全然統一せられ、恰も一軍團の、觀を呈せるにあり。之に反して聯合軍側に、勝算の尠なかりしは、個々の司令官と、個々の參謀本部の下に、個々別々の作戰に基きて行動せるが、其の大因を醸せしに非ずや。戰場に於て、最も重要なる、連絡と統一とは、之が爲に完全せざりしが故ならずや、斯く觀じ來れば今回の聯合軍總參謀本部案は、洵に時宜を得たる、理想案たりと云ふを躊躇せざる也。然り、立派なる理想案なり然れども理想は必ずしも、之が實行に適するや、否は、一個の問題なり。今假りに、共通の參謀本部を設置したりとするも、差當り總參謀總長、總司令官を如何にして選ぶべきか、之を任命したりとするも、各々其國是利害を異にせる諸國が、渾然歸一、共同の作戰計畫に、從ひ得るや、否、這は大なる疑問に屬す。羅馬尼が、參戰當時に於て、勃牙利の背後に迫り、サロニカ聯合軍と、相應じて、勃牙利を挾擊せん事を、露國は大局より打算して、頻りに羅國に勸告主張せり。然るに羅國は、露國の言を容れず、其宿望に基き、直にトランシルバニヤ併合の目的を以て、墺匈國に侵入し、茲に露羅兩軍々事當局者間に、感情の疎隔を見、羅國大敗の因を作りたりと、解せられつゝあるに非ずや。最近サロニカの救援に於ても、露佛の熱心なる主張あるに拘らず、英國は寧ろ一兵たりとも、西部戰線に增派せんとする希望を有し、萬已なくんば、撤兵をさへなさん意嚮を有せりと、傳へられつゝあるに非ずや。

然れども、斯る立派なる理想案を、不實行として、其運用の妙を示さず、徒に悲しむべきの至りなり。敵は今や、內外困憊を來しつゝあり、聯合軍は掉尾の大活動を、示さゞるべからざる時機の、益々近づきつゝあるに非ずや。要は唯だ、結束鞏固、渾然歸一にあり。

朝鮮の土地と人口包容力(下)

渡邊彰(寄)

既に然らば今後朝鮮の地上には大正三年末調査の人口千五百九十三萬七百四十四人以外に尚ほ若干の人口を包容して安全に生存せしめ得べきや否やと云ふことを綜合的に考究すべき時機に到着せるものと云はざるべからず是れ朝鮮總督府が六年有餘の歲月と鉅萬の財用とを費して調査せる地力總體の活用に關する大問題なれば何人も即答に苦しむ處にして吾人が同志と共に思を靜かにして徐々研究せむとするも亦此の點に在り

今明治四十三年合邦の初年以降五年間の統計に就て之を見れば年々人口の增加するは朝鮮の土地が次第に繁榮に赴く一の兆象として祝すべく賀すべき實相を現はしつゝあり即ち總人口と一方里に於ける其の密度を摘記すれば左の如し

	總人口	一方里の密度
四十三年	一三、三一三、〇一七	九四二、六
四十四年	一四、〇五五、八六九	九九五、二
大正元年	一四、八二七、一〇一	一、〇四九、九
同 二年	一五、四五九、八三五	一、〇九八、六
同 三年	一五、九二九、九六二	一、一二七、九

更に煩を厭はず內地人、朝鮮人及び外國人に區分して其の統計を見るに實に左の如し

	內地人	朝鮮人	外國人
四十三年	一七一、五四三	一三、一二八、七八〇	一二、六九四
四十四年	二一〇、六八九	一三、八三二、三七六	一二、八〇四
大正元年	二四三、七二九	一四、五六六、七八三	一六、五八九
同 二年	二七一、五九一	一五、一六九、九二三	一七、五四九
同 三年	二九一、二一七	一五、六二〇、七二〇	一六、〇五五

以上の如く人口增加と共に朝鮮の土地總面積一萬四千百二十三方里に對する人口の密度は粗より密に進みつゝあるは疑ひなき事實なるを以て將殖民の實を舉げ各種の事業を興すには尙ほ若干の移民を獎勵するも土地の包容力に於て過剩とならざるや之を是れ周密に勘查し以て移住者獎勵の基礎とし以て移住者に安堵の念慮を鞏固ならしめざるべからず左もなくして移住を獎勵せば徒に移住者をして失望、失業の悲境に陷らしむるのみならず勞して功なきことに歸著するや必せり此の點は實に明なる東洋拓殖會社の理事者諸君に深く厚き留意を以て百般の社務を措置せらるゝことを熱望せざるを得ず

凡そ事物の上に一の理想を加へて其の可否如何を考究するには既に知れたる事實に基き未だ知れざる事に推し及ぼすを便宜なりと信ずるに依り予は內地に於ける過去の事實を援引し來りて本問題を研究する參考に供することゝせり

前に一言せし如く朝鮮の全面積は一萬四千百二十三方里にして大正三年末の總人口千五百九十二萬九千九百六十二人なれば之を總面積に均分するときは一方里の密度は千百二十七人九分なるも假に之を千百二十八人とし內地に於ける左記各年度の人口密度に比較し以て將來增加し得べき人口を算出すれば左表の如し

	內地の一方里の人口	朝鮮の面積に乘じたる人口	大正三年末人口に比し增加すべき人口
明治五年	一、三三五	一八、八五四、二〇五	二、九二三、四六一
同十五年	一、四八〇	二〇、九〇二、〇四〇	四、九七一、二九六
同廿五年	一、六五七	二三、四〇一、八一一	七、四七一、〇六七
同卅五年	一、八九六	二六、七七七、二〇八	一〇、八四六、四六四

右表の上段に於ける人口は內地に於ける各年度の一方里の密度にして中段の人口は朝鮮の面積一萬四千百廿三方里に一方里の平均人口千百卄八人を乘じたる數なり而して最下段の人口は大正三年末に於ける朝鮮の總人口千五百九十三萬七百四十四人に比較しての差數なりとす是に由て之を觀れば大正三年末に於ける人口の密度は之を內地に於ける明治五年の密度に比するも二百九十二萬三千四百六十一人少數なることを示せる次第なれば今後數年の間は官民協合して移民を獎勵する一方に意を傾注し差支なきのみならず東洋拓殖會社の手を煩はさず各人適當と認むる地方を擇みて移住を爲し適意の業を營みて永住の基礎を固うする者の陸續として來到せむことを希望して已む能はざる所なり今更云ふまでもなく內地の實狀は十數年前より土地の包容力に過剩せる人口漸增し今や其の過剩數の振向方所謂海外發展策を考究中に在れば苟も獨立自存の志を懷くの士は敢て政府當局者を煩はさず自ら適當の地を探みて朝鮮に移住するを以て最も安全なる方法と確信して疑はざるなり而して予が今日まで考究せし所に依れば朝鮮の人口は之を內地の明治三十五年に於ける密度即ち一方里に付千八百九十六人の程度迄增加するも土地の包容力に對して過剩とならずと信ずれば鮮內人口約二千六百萬人迄は安らかに生存し得べきものと信ずるなり然して予は斯の如き決定的言言を爲すに方り此の立論を構成せる各種の材料を類別編次して今茲に發表する能はざるを憾みとす故に他日各種の考究資料を整頓して所見を附記し之を同好の諸士に頒ちて高明の批評と示敎とを仰ぐことを期し以て今日材料の提供不充分にして所論に間隔あり且つ連絡なき論鋒を補充することゝすへし

「大正の青年と帝國の前途」を讀む(二十)

十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

智慧なくんば思慮に疑あり、疑あるが故に懼あり、懼あるが故に勇なし、勇なきが故に他に制せらる。慈悲なくんば擧世皆敵なり、一人にして萬夫不當の勇あるも、衰亡は免れず。[illegible]階三尺は、國を守るや萬里の長城に過ぐ、王者敵なく、仁者壽なるは、是の理なり。方便あらざれば、事に凝滯あり、事に凝滯あらば、勞を費す事多くして、功少なり。是三者は、皆第一義諦の妙旨を知るに非ずんば生せず、一切空無我諸法不可得なるを知るが故に智を生ず、一切群生の苦を知るが故に慈を生ず、是の智慧、慈悲に由て、方便を生ず。方とは正直なり、便とは己を外にするなり。正直に依て群生を憐愍するの心を生じ、己を外にするが故に、自身を恭敬し、供養するの心を遠離す。是の三者を具備せば、既に人類を超越し、萬物を超越す。然りと雖も是を完備せば佛なり、人に非ず。我等唯是れに近くの程度のみ。百分百を得ざるも、九十を得ば大に可なり、九十猶難きも、七十を得ば可なり、乃至一二を得るも猶絕無に比して、其價萬金も比すべからざるなり。若夫れ佛果を得んと欲するが如きは別論なり、今云ふ所に非ず。然れども佛の大威、神力を信せば、この肉體の能力範圍の最大限の程度を得べし。何となれば佛とは、この三者を具備せる者を云ふ、故に是を信じ、是に順へば、是を得る事不可能に非ず。如此きは斷じて敎育の範圍に非ざるなり。佛敎とは何ぞや、佛果を獲せしむる方法を說けるものなり、佛果とは何ぞや、嚮に云ふ三者を完備せるものなり。佛果を得るに非ざれば、人類乃至動物を超越する能はず、然れば佛果を得るは、今の所論に非ずと雖も、亦是を閑却して人間に生存せば、常に劣敗者たるを免れず。今の青年佛敎に依て佛力を信じ、勇猛精進するに非ざれば、終身劣敗して、常に制を他に蒙り、憂悶疑懼、百年一樂なく、終に死に至らんのみ。是れ不肖の切實に勸告を敢てする所以なり。歐洲諸國既に耶蘇敎の儀禮に因る事多しと雖も、猶我帝國の無信仰に比し、數等の上にあり。我國の倫理敎育を以て、宗敎の代用をなさんとするは、鬪を以て馬に代ゆるが如し。人類の要は、現世にあり、死後は人と名けず、生前は人と名けず、故に現世の倫理敎育に依り、大半は之を行ひ得と雖も、遂に聚鬪たるを免れず。三世を通達し、之を超越せる大を以てするに非ざれば、其意義に達者する能はざるなり。若夫れ佛敎を以て、一種の職業となすが如きは斷じて不可なり。

米國に於ける煙草トラスト

其沿革と……事業經營(五)

一、煙草トラストの起源沿革 5

▽販賣者の躍起 初め英米兩會社が堂々と競爭場裡に立つて相對抗するに際し、英國內の販賣業者は或は英國社側、或はトラスト側に分隔して、素より其の左袒したる會社より特別報酬を受る恩惠の下に於てとは雖も、隨分彼等は該の競爭戰に力瘤を入れて盡力したる事なるが、一朝にして兩會社が協定を結び競爭を中止するに決するや、驚ろきたるは從來トラスト側のオグデンス會社の旗下に馳らきたる四千五百の葉煙草販賣者なりき。賞與分配利益配當てふ特別待遇のあればこそ彼等はオグデンス社に味方せしなれ、寢耳に水の協定發表には大に鼻を明かされし譯なれば、彼等は直ちに起ちて、兩會社が手を握ると否とは敢て構ふ所にあらざれど最初の契約丈けは必ず實行を要求する權利ありと主張してトラストに迫り遂に訴訟問題となりて法院の手を煩はすに至れり。彼等はトラストに對して、豫て四年間年額百萬弗を提供する事となれる契約を楯として其額百萬弗を取得すること、尙ほ更にトラストが英國市場より撤退する代りに英國會社より受取るべき七百五十萬弗はアグデン會社の純益の一部なる故、之れは販賣者に提供すべき性質のものにして合計千百五十萬弗を取得する權利ありと主張し一步も讓らず。遂に此の訴訟問題は控訴院まで迴送せられたるが、控訴院は英國販賣業者の方に理由ありとし、トラスト側の敗訴たるを宣告したり

▽トラスト完成 米國煙草トラストは一九〇四年に其の組織を變更し、米國煙草會社、大陸煙草會社並にコンソリデーテッド會社の三社は融合して一會社となり、米國煙草會社の名稱の下に公稱資本三億弗を以て統一經營せらるゝに至れり。斯くて米國トラストは米國內に於ける紙卷、板、嚼、剪、嗅各種煙草の全產高の七割五分と葉卷莨の二割五分を統一支配し、更に甘草栽培を直營し、又錫箔工場、パイプ工場、機械工場を自營し、又販賣方面にては小賣卸賣共に兼營し、而して米國內及びキューバ島に於て煙草栽培事業を經營し、一九〇四年以降其の活動は一層目覺ましく、資本金額は膨脹して四億五千萬弗の巨額に達し、其の事業經營の範圍は煙草畑の所有又は支配より製品の生產及び其の販賣に亙りて一切を網羅せり。抑も如何なる他の大產業に於て、斯くの如く完全に、斯くの如く整齊せるトラスト組織の存するを吾人未だ發見する能はざる也

日報詩壇

○讀桂軒芳洲唱和詩次韻敬呈　笹島 紫峰

一燦流水屋三間。初覺乾坤日月閑。架上靈殘猶可讀。書香稅對書青山。記故人遙夾可如何。秋動梧桐感慨多。得分明當時夢。春山之月滿江波。

評曰 辭意自然。不見次韻之痕。

○大綾江太守送學國時宗韻　一番瀨聖山

雄城城裏別乾坤。勝狀馳吾搜句魂。如錦詞華開玉版。似仙賓客倒金樽。千山新樹窗前泮。萬里清流由治源。偏喜聖時邊援穩。春軒風月又君恩。

評曰 曲折周匝。饒有委致。

○送學國先生轉于南鮮　笹島 紫峰

官遊豈其俗。水遠嶺重重。成北不知暑。全南亦忘冬。一年過客裏。幾度踏雲封。我有陶潛酒。神仙媚畔濃。

評曰 前半一呵而成筆力沈實

▲今大に賣る

▲④能く賣る

▲三大に買ふ　後場同店より賣りたる玉數九千餘石に　後場同店より買ひたる玉數七千餘石に

▲全の商內　後場同店より買ひたる玉數三千餘石に

▲現物界

十八日の三月限　寄付 十二圓九十八錢　引 十二圓九十五錢

公告

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルヲ以テ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日
京城府尹 金谷充

一普通椅子外壹百四拾五點
右賣却ス詳細ハ一月十九日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府警務總監部

生徒募集廣告
本年四月本校ヘ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス詳細ハ一月十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ參照スヘシ
京城醫學專門學校

石炭 煉炭 木炭 コークス
電話千五百十三番
村山商行 明治町

朝鮮駐劄軍司令部 師團司令部 陸軍諸官衙 其他 軍隊用品一式御用達 御販賣
京城府龍山漢江通八番地
電話五三六番 振替請願中
安藤誠一
軍人向の品物は何でもあります 御一報次第御送付致します

胃腸新劑 ゴルフ
「ゴルフ」はタカヂアスターゼを主藥とせる健胃消化の新製劑なり
二十錠 一四十錢
東京室町 三共製藥株式會社

開院廣告
內科 小兒科 眼科 外科 產婦人科
藥價實費 宅診往診絕對無料 診察晝夜
其他一般診療に應ず
京城警務總監部通新道(中將湯前)
實費診療醫院本部 電話二五三二番
附屬 酸素療法 オキシヘーラー治療所
一月十四日京城日報朝刊一面熟覽あれ

國產 優秀卓絕價格低廉
白檀油代用藥 ゴノサルビン
內服淋疾治療劑として其効果を公認せられる白檀油と化學的集成を等うす 治療的効果白檀油と相伯仲し殆んど消化障碍なき特徵を有す 本邦產植物より發見せる純內國產なれば價格低廉 故に本品は最も優秀卓絕なる
白檀油の代用として好評嘖々たり
發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衞 東京本町 小西新兵衞
文獻及見本 醫家ニ限リ本社ヨリ送呈ス

ストーブ用 新荷到著
內地塊炭
一般需要に應じ申候
京城南大門町 電話七二七番 西崎商會
京城鍾路 電話二四〇七番 西崎商會支店
京城西大門驛構內 電話二一二七番 西崎商會貯炭場

日本少年 二月號
長篇少年小說 出世 渡邊霞亭
特別讀物 小人國探檢 次郎冠者
▲大山元帥 大將 梅山
▲初陣物語 井上元帥
▲小人島 ▲怪頭號 ▲大阪城 ▲鐘樓守
▲岩見重太郎 ▲世界一物語 ▲地中の秘密 ▲兎の仇討
▲勇ましき喇叭手 一戶大將
▲生蕃少年
▲病院の窓 芳水
▲我慢會 思水
一冊 拾貳錢 郵稅一錢 半年七冊 八十五錢 共稅
東京京橋 實業之日本社

少女の友 二月號
○高等女學校入學準備試驗
○問題の解き方、答案の書方、一々各科目に就て面白く分り易く專門の先生が詳しく本誌上に發表
▲少女小說 霜の朝 菊枝 若野
▲歷史物語 慈悲の雫 今西吉雄
▲ダイヤモンド ▲三人の少女 ▲松林の夕 ▲學術的大懸賞
▲動物の仕込み方
▲名所スタンプ
▲笑ってる年 水野
▲少女小說 暗い影 常花
一冊 拾貳錢 郵稅一錢 半年七冊 八十三錢 共稅
東京市京橋 實業之日本社

御製

ゆきしろき ふじのたかねの みゆるかな かしこ ところのまつのこずゑに

皇后宮御歌

やしまのうみ こえてはるけき やまくの ゆきにもしるし みよのひかりは

新年勅題

十八日新年勅題「遠山雪」豫撰歌左の如く發表ありたり（東京特電）

石川縣鳳至郡宇出津町 從七位勳五等 諸角友平
あさやかにけさはみへけりみへぬひもありしとほやまゆきのつもりて

香川縣讃岐國觀音寺町 從七位 堀野林次
ひうちなだなみじのすゑのくもはれていよのたかねにゆきふれるみゆ

三重縣伊勢國河藝郡上野村動八等 別所光春
まつあほきやまはこなたにつらなりておちのたかねぞゆきましろたる

東京府荏原郡調布村 松本みち
ちゝふみねはけさゆきしろしちとりなくあらかはつゝみかぜさむくして

京都市七條內濱區町 小關鐵之介
あさひさすふじのたかねはとほけれどゆきはみやこのひかりなりけり

愛知縣丹羽郡古知野町 掛布善右衛門
ゆきしろきみねをそみゆれむらさきのいろにあけゆくやまのかひより

岡山縣赤磐郡山方村字中山 丹下萬吾
しろたへのゆきにあさひのかけさしておちのたかねもまばゆかりけり

馮廣寧に向ふ

馮麟閣は張督軍との折合圓滿ならざる爲め奉天に來らず其の根據地廣寧に向へり（奉天特電）

筑波爆破査問

筑波艦の爆破沈沒に關し十七日より査問會を開きて精査中なるが査問委員長として海軍砲術學校長海軍少將加藤寛治氏任命せられたり（東京特電）

檢事陞叙免官

十八日左の如く辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府檢事 正五位勳五等 鄉津友彌
陞叙高等官二等

朝鮮總督府檢事 向井巖
依願免本官

デユウエー提督逝く

華盛頓來電＝デユウエー提督は逝去せり（紐育電報）

對露貿易有望

歐洲大戰の爲め世界の經濟界に一大變化を齎し日露の經濟關係は密接となり日本商品は露國內に販路を擴張し漸次增進しつゝありて露國に於て外國正貨入手の困難、留、相場の下落に伴ぶ巨額の過拂、高率なる輸入稅。少量なる小包郵便に非ざれば商品を輸入する能はざる困難、然も之れすら制限せられ又は取引契約の際必要條件として現金拂の要求等幾多の困難あるに拘らず日本商品販路は絶えず擴張せられつゝあるは露國市場に其必要品の不足缺乏が極端に訴へられつゝあると日本商品に對し競爭者の絶無なるに依るものにして戰時中に露國雜貨界は日本商品の獨占たるべしと右に就きイ、イウオレソーウヰチ氏は論じて曰く戰爭終結して經濟界常軌に復し國境及び諸港の開放せらるゝに至らば諸外國の輸出業者競うて商品を輸入し來るべく又露國の戰時中發達せる工業が繼續せられて自國市場の需用を充すに努むべし、されば現在の形勢は急變して

▲日本商人の獨占は不可能なるべし之れ今日より考慮し置くべき事なり故に戰後迄現地歩を存續せんとせば此際對露貿易條件に符合する樣注意するを要す、現行販賣の方法は舊式の一騎打を爲し個々各自の商綱に依るのみならず自國商人同志すら競爭を惹起し諸種の故障を自ら求めつゝあり此の如き有樣にては到底輸出貿易を國家的に擴張し得ざるべし

▲戰後の發展を期せんと欲せば協力一致事に當り綜合的大組織を以て進まざるべからず之が爲めには日本商人は今より協同合議し共同經營を以て露國の商業地に相當の機關を設置し各所勢力範圍にて充分活動せしむるに如かざるべし、即ち重要都市に事務所を設け之に(一)倉庫の經營(二)商品見本の陳列所開設(三)興信所を設置するに任り又露國にては信用貸借の下に商業を行はず

▲大規模の商業は行はるべくもあらず之れ興信所の必要なる所以にして尙此外に事務所に機敏なる露國人を使用し販路擴張注文取りを爲さしめ或は公設私設の商業代理者を置き絶えず露國新聞に向つて日露貿易に關する報道を爲すに在り、現在日本の商人に露語の智識不足し商習慣を熟知せず爲めに商談も中折することあるに依り日本商品の

▲露國全部に紹介せらるゝこと迂々たる有樣なり想ふに之等設備を怠らんか如何に日本商品を戰後に持ち込も到底他國の商品と競爭し能はざるべし日本當業者たるもの大に注意せざるべからざるなり云々

歌御會始式

天皇皇后兩陛下には豫て御出ましたる如く十八日午前十時宮中鳳凰の間に出御歌御會始の式を行はせられ正午參列委員其他の係員に對し酒饌を賜はり讀師以下には御目錄其の他の恩賜ありたる由承はる終つて歌御會始奉行より豫撰の榮譽を擔ひたる人に對し書留郵便を以て御前披露ありたる旨通牒を發したりと（東京特電）

昨年日露貿易

哈爾賓商業會議所の調査に據れば昨年一月より同十月末迄に於ける日露貿易額は日本より露國への輸入は一億一千八百四十九萬圓露國より日本への輸入は僅かに百三十五萬圓なりと（長春）

交銀借款問題

日本興業銀行朝鮮銀行臺灣銀行對北京交通銀行の借款に就いては其の交渉要務を帶び北京に赴ける二宮臺銀理事（前朝山成理とせしは誤り）が十八日頃北京著の筈に付今後諸種の條件を協定の上決定せらるべく其成立迄には尙ほ若干の時日を要すべし而して其の金額は世上傳へらるゝ如く二千五百萬圓に決定するか尙ほ少額となるか今日の所未知數に屬するも借款の目的は交通銀行の救濟にありと

移民規則新定

東洋拓殖會社にては昨報の如く今回脫稿せし新移民規則の審議に付十七日午後一時より五時迄鈴木監理官、吉木商工課長臨席の上樓上に重役會議を開きたるが逐條審議の結果多少の修正を加へたるも原案の精神は之れを通過したり但し鈴木監理官より尙ほ新移民規則確定に付若干の意見を開陳したしとの申出でありし爲め同社にては監理官の所見をも參酌し新規則を制定の上總督府に認可申請の手續きをなすべしと

東拓貸出利下

東洋拓殖會社金融部にては昨秋の米豆作豐穰にして其の値頃も之れを前年に比し良好なる爲め地方の金融好調を呈し若干宛新規の貸出しはあれど其の回收は近來未曾有の好調にあり動もすれば貸出し減退の傾向なきに非らず加ふるに昨年來一般金利の低落せるに拘はらず東拓の貸出し金利は大體に於て動かざる爲め其の利子高率に過ぐとの批評あり旁々會社にては其の利下げに付協議中なりしが結局去る十一日不動產擔保貸出しは從來より二分乃至三分乃ち約一割內外に又公共團體水利組合等に對する無擔保貸出しは一分乃至一分五厘の利下げを行ひ又延滯利子も今日迄日步五錢を徵しゐたるが改正後は契約利子の二分增しと改めたり尙ほ最近の貸出し總額は農債を合し六百九十萬圓にして昨年の最も多額に上りたる七百七十五萬圓に比すれば約八十五萬圓の減少を示し居れり

甲山銅の移出

久原鑛業會社が客年コールブランより買收したる咸南甲山銅山に於ては引續き盛んに經營の歩を進めつゝあるが成績頗る良好にして本年一月一日第一回移出として十六噸を出し當陸の製鐵所と特約の下に城津より大阪を經て輸送したるが引續き第二回移出として本月十七日三十噸を出せり一噸の價格一千二百餘圓にして今後は僅に一日十噸の製作を爲すに充分なる由なれば其の移出港たる城津は之が爲に市況若干活氣を呈し居れり

鐵道倉庫近況

歐洲戰亂の結果船腹缺乏を告げ鐵道に依る出荷旺盛を極め之に伴ひ目下鐵道營業倉庫（慶山外二十一箇所）は未曾有の盛況を告げ今や各地の倉庫充滿し此上收容の餘地なきを以て慶山外十數驛に於て野積保管を開始し僅に荷主の希望を滿しつゝある狀態なるが今其近況を聞くに十二月中に於ける入庫一萬一千三百二十噸出庫七千六百九噸にして本月十日調査にかゝる在庫品は大豆五千百六十七噸米二千百四十六噸雜穀二千三百二十三噸を其主なるものとし其他繩叺、金巾、海草、棉花、實棉、綿絲、セメント、葉莨、綿布、麻布、洋紙等を合して九千七百五十噸にして價額總計七十六萬九千七百七十五圓なり而して右の內庫內保管のものは六千五百七十一噸價額五十五萬二千百九十七圓にして其他は野積保管に屬するものなり今其主要倉庫別に其在庫數量並に價格を見るに左の如し

倉庫別	數量	價格
慶山	八六八噸	五四、二八[illegible]、二五
大邱	三三七	九三、九四七、四九
倭館	六三五	四二、五六〇、六〇
鳥致院	四九七	三四、六七〇、五〇
天安	五六五	三五、三八六、〇〇
鳥山	三八八	五九、七二三、五七
金泉	七〇二	四四、八一三、八五
汗浦	六一六	四〇、〇〇八、九〇
漣川	四八六	二九、九〇九、三〇
鐵原	六六一	四二、五一八、〇〇
沙里院	九九九	六六、四三〇、二〇
論山	三五一	二八、一二五、八〇
鎭南浦	三二九	二三、七二六、〇〇
水原	五六五	三八、八七七、九〇

慶北地稅成績

慶尙北道に於ける地稅第一期徵收成績は調定額六十二萬七千九百五十四圓中一月十五日現在九割八分五厘の成績を見其內完納せし郡部は軍威、安東、靑松、英陽、永川、慶山、聞慶、榮州、鬱島の九箇所にして是を昨年同期に比し約一割の好成績を示しつゝあり（大邱）

租稅驛屯賭徵收成績

京畿道大正五年度租稅及び驛屯賭收入狀況を聞くに客年十二月末現在に於ける調査左の如し

▲地稅 調定濟額三十七萬二千七百三十一圓に對し卅六萬九千七百八十八圓の收入あり此收入步合九分九厘二毛

▲市街地稅 調定濟額二十一萬四千零二十六圓に對し二十萬零六千八百廿二圓の收入あり收入步合卽ち九分六厘六毛

▲戶稅 七萬三千四百七十七圓の調定濟額に對して七萬三千三百三十六圓の收入あり收入步合九分九厘八毛

▲家屋稅 調定濟額八萬二千五百八十八圓に對して七萬六千八百五十六圓の收入あり收入步合卽ち九分三厘

▲酒稅 調定濟額九萬一千五百六十三圓に對し七萬七千五百十二圓の收入あり此收入步合は八分四厘六毛

▲煙草稅 調定濟額卅五萬零七百五十四圓に對して一萬一千六百六十一圓の收入あり此收入步合卽ち四分一厘九毛

▲鑛稅 三萬七千四百七十二圓の調定濟額に對して二萬零五百十五圓の收入あり此收入步合五分四厘七毛

▲雜稅 調定濟額四千五百十圓に對して四千四百〇五圓の收入あり此收入步合一分五毛

以上の如くにして租稅計調定濟額百廿五萬八千八百十七圓に對して百二十萬零五百七十五圓の收入あり此收入步合九分五厘三毛あり尙此外驛屯賭收入調定濟額十八萬六千百二十三圓に對して十八萬四千零六十二圓の收入あり此收入步合九分八厘八毛所得稅調定濟額三萬一千六百九十五圓に對して三萬一千四百四十八圓の收入あり此收入步合九分九厘二毛なり

京城の交通機關

京城府にて調査したる處によれば十二月末日現在に於ける市內の交通機關の數を聞くに自動車一六、人力車一、五五三荷車二、九一九、荷牛車九、荷馬車三八五、客馬車一六計四千八百九十八臺なるが右は何れも前年に比し著るしく增加し居れるは交通機關の發達に伴ふものなりと

寒氣と江原道

江原道地方は客年十二月より本年一月初旬に亙り近年稀なる嚴寒なりし爲め井水なき村落に在りては水上結氷し使用水は勿論飮料水も缺乏し困難を極めつゝあり平昌郡邑內の如きは井水乏しく爲めに湯屋は三日も休業し尙連日の寒氣と烈風との爲め畑地は干燥し生麥の根を幾分枯死せしめたる個所あるに依り同作は不作なる地方あり通川郡臨南面地方は用水及び薪炭の供給に困窮したりと

嚴寒と江景論山

江景地方は錦江結氷の結果舟揖全く不可能の狀態にして從つて江景市內に入航せし帆船は船體悉く氷に著し群山方面との水運全然杜絶するに至り群山方面との水運に依る貨物の運搬杜絶の狀態に陷り商取引に及ぼす影響尠からざる現狀にして特に元旦以來の酷寒に伴ひ市中各商店共顧客の出入甚しく昨今の市況著しく寂寞を感ずるに至り例年舊正月を控へて見ざる不景氣を呈しつゝあり而して料亭の如きは數日來遊客殆んど皆無にして又寫眞屋の如き一月に撮影者多く多忙を極むるを例とせるも寒氣の爲め更衣するを嫌ふに因るならんか是れ亦來客皆無の有樣なり江景論山は民家を督勵して路上の堆雪を一齊に除却に努め又論山驛在所管內自動車の通路は關係里民を督勵して當局は一般に除雪を行ひ以て交通の利便を計り居れり此の如く極寒の爲め貧民の如き野外勞働なきに因り自治の資を得るに窮し饑餓の難に陷るもの等なきや一般巡査補をして官憲は而當局と連絡を保ちつゝある狀態にして此の酷寒と積雪とに基因するならんか一月に入りて盜難事件は僅かに三四件にして之を例年の狀況に徵して殆んど異例を示しつゝあり

間島在住邦人數

大正五年末現在調査間島在住邦人戶口は商埠地內百四十四戶男二百十七人女二百四十五人計四百六十二人商埠地外戶數卅人口男四十三人女十四人計五十七人合計百七十四戶人口男二百六十人女二百五十九人計五百十九人にして商埠地內にては龍井村九十八戶二百八十二人局子街二十七戶百二十二人頭道溝十五戶五十五人百草溝四戶四人にして商埠地外は天寶山新興坪等なり

富寧鐵山發展

淸津北鮮鐵業所經營の富寧郡靑岩面細洞鐵鑛山は今回三井より資金の融通を受け採鑛及び運搬の準備を爲して搬出する事となり既に本年度に於て八萬噸を若松製鐵所室蘭製鐵所の兩所に納付するの契約成立したるが從來困難としたる陸上運搬に就ては山元より沿岸梨津迄約五哩間經費十五萬圓を投じて索道を布設する事となり來る四月頃材料到著の筈なりと云ふが二三年後に於ては年額二十萬噸を搬出せん計畫なり

舊龍湖停車場

京釜線秋風嶺金泉間線路改良工事從事員乘降の爲め鐵道局にては今般同區間舊龍湖停車場跡に各列車（各急行及び入列車を除く）を一分間宛停車せしむる事となり一般乘客をも取扱ふ由

群山浮標流失

群山港外の桂燈浮標過般の風浪により流失せし事は既報の如きが其後遞信局にて搜索せしも未だ發見せず或は海中深く沈沒せしやの疑ひもある由なるが當局にては月末內地に向ふ所屬船光濟丸をして一應搜索をなさしめ其の跡には應急の施設をなすべしと

井上少將通過

井上運輸本部長は十九日朝釜山より入京直ちに午前發列車にて元山經由北鮮視察の途に就く由

人事消息

▲李江原道長官 二十日午後歸任の豫定
▲野手耐氏（鎭南浦稅關長） 十八日夜過京
▲石井光雄氏（鮮銀釜山支店長） 同上
▲加茂熊二氏（小野田セメント技師） 同上
▲佐々木淸綱氏（釜山府廳士） 十八日入京不知火へ
▲久保田莪藏氏（鮮銀鎭南浦支店長） 同上

南言北語

協商國の羅馬會議の結果がソロ／＼利いて來だしたらしい▲希臘もコンスタンチン王が大分頑張つて居たが遂にやり切れぬと見ゐて退位するとか▲其の後代はアオスタ公だとか傳へらるゝ▲アオスタ公ならば伊太利皇帝の從弟に當らせらるゝから希臘も當然協商側に組入りをする而うすれば參戰は無論である▲之れ丈けでも羅馬會議の有効であつた事が明る▲同盟國側の皇帝會議も維也納で開かれるとかであつたが場所を替へてブカレストで開かれる相だ▲墺帝の平和強要も其後何とも聞かれぬが此の皇帝會議では大分議論の花が咲くのだらう▲聞かぬと云へば此の間ヒンデンブルグ將軍が危篤だと傳へられた丈けで何とも聞かれぬ▲歐洲大戰の大立者であるから從て其の結果も早く聞きたいは當然だ▲名譽ある筑波も殘念ながら橫須賀で爆沈した▲日淸役の旗艦松島と云ひ日露役の旗艦三笠と云ひ名譽ある歷史を有する軍艦が同じ運命に遭遇するのは實に殘念である▲殊に傳手に歐洲開戰後千九百十六年の十二月末日迄喪失した艦艇を調べて見たら三百二十一隻あつた▲其の內譯をすると砲擊で沈沒したのが九十四隻魚形水雷でやられたのが七十八隻機雷に觸れたのが六十八隻▲艦內爆發で沈沒したのが十八隻だが此の內十二隻は自爆沈沒で六隻は丁度筑波と同じ運命に罹かつたものだ▲擱坐衝突で沈沒したものが三十五隻其他原因不明のものが二十八隻▲三百隻と一と口に云ふけれど何うして仲々大したものだ

鯖船沈沒 高知縣高岡郡宇佐村門田眞吉所有發動機帆船天地丸 … 路を過り暗礁に乘り上げたる急報に接し借主なる林業にては直ちに發 …

… 大律が昨年舊十一月五日居宅にて李 … る事發覺し其の金は憲兵隊に沒收せ … 城津支廳に於て泰律は懲役四箇月 …

… 七月六日死亡したる亂父陳留哲の水田二斗五升落あるを種として大正二 … 以て右の土地を擔保に供し賣買契約名義に前後二回に亙り金百六十 …

… 傷を負はされたる鮮仁線素砂驛 … 業森任三郎(四八)は十七日夜遂ひに死したるが同家は一家なれば多分樣子を知りしもの、所爲なるべく孰れ …

… 活動辯士秋月天龍事坂本一男(二四)は昨年十一月三日より十四日迄の間に大西正義と云ふ活辯のセル袴一著お召男物一枚を盜み又興業主淸水安 …

石炭販賣廣告

弊商會は明治鑛業株式合資會社朝鮮支店の後援を受け同社經營に係る朝鮮産の安州炭並に內地産の各種炭を一手に取次ぎ卸及び小口販賣を開始仕候間何卒多少に不拘御用命被下度奉願上候

京城南大門通五丁目十七番地 岩田商會 電話二六六番
同 西大門驛前 岩田商會出張所 電話一六七九番
岩田商會特徵 斤量正確 價格低廉

鑛山及船舶業
食鹽輸入販賣
平安南道新安州 合資會社 藤井組 社長 藤井千城

謹告

大阪朝日新聞讀者各位へ

拜啓弊店儀大阪朝日新聞販賣取扱以來多年御引立を蒙り候段奉謝候然る處今回都合に依り雙方示談の上右取扱を大阪朝日新聞販賣所へ引繼き候に付右御諒承の上不相變御愛顧の程希上候茲に從來の御厚誼を謝し右御披露申上候 敬具

大正六年一月
京城本町 町田新聞舖
龍山 同支店
仁川 同支店

追て一月分新聞代は大阪朝日新聞販賣所へ御支拂相成度候

前記の通り今回町田新聞舖取扱の大阪朝日新聞當地方の取次を拙店へ引繼候就ては敏活叮嚀に配達可致は申迄も無之諸事一層勉勵御便利相計り可申候間倍舊御引立の程奉希上候也 敬白

南大門通二丁目 大阪朝日新聞販賣所
大阪朝日新聞通信部內 大阪朝日新聞販賣所（電話三九七番）
龍山驛前 大阪朝日新聞販賣所（電話七二一番）
仁川宮町三丁目 大阪朝日新聞販賣所（電話七六番）

右の通り販賣店變更致し候間御諒承の上一層御愛讀の程奉希上候也
大阪朝日新聞社販賣課

大割引發賣金參圓（送料共）

朝鮮産業指針

洋裝クロース上製 紙數千四百七十頁 水産物造林適地一覽圖

朝鮮産業の如何を知らんと欲する者は本書を讀め

一、農業、拓殖、林業、鑛業、水産、金融等主として直接産業に關する記述を採擇編纂したるものにして之に附加するに李王職を始め重要會社と銀行の事業を以てし尙且總督府の施設を以てしたるは官と民との兩面より如何に朝鮮産業の改良發達に努力せられつゝあるかを、最も的確に最完全に紹介せり

一、當業者が幾多の心血を注ぎ資財を抛ち千難萬難を冒かし經營せる自家事業に對する實驗的叙述にして然も該叙述が同一事業にして人により土地により方法を異にし、各特色を發揮したるが如き又た其の事業の性質上從來公開せざりし設計及勞作の情態を赤裸々に明示したる如き之を朝鮮の凡ゆる階級に提供し之を母國に問ひ、之を臺灣滿洲は勿論廣く世界に示し植民地の産業振興上絶好の參考資料たるを疑はず本社茲に朝鮮産業に志す士に對し頒く之を提供すべく大割引を以て發賣す此機を逸せず是非一本を机上に供へられよ

發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

……を積載し十二月三十日午前三時頃南海山郡東面方魚津沖合望島附近を航行中折柄の烈風と暗夜との爲め針……したるが損害二千圓なりと

●賭博から恐喝　成南咸州郡[illegible]……返金せよ應せざれば憲兵隊に告ぐべしと恐喝し内二十圓を捲き揚げた

●水田を種に　慶南統營郡東部面鶴洞陳萬癸（三九）は大正元年[illegible]……土地の所有主なる陳富哲なりと稱して里長陳龍俊をして證明せしめ[illegible]

●高利貸列す　去る十四日午後十時頃貸借上の爭論より鮮人に慘[illegible]

●一ツ[illegible]……熊時面柳山里趙洪植方に四名の强盗襲來して主人夫婦を脅迫[illegible]……圓五十錢を奪ひ雲霞と逃げ失せたり

●活辯の惡事　平壤壽町歌舞伎座[illegible]……松田代三郎に金十圓に賣拂ひ全部賑町遊廓に於て費消したるを平壤署の刑事に探知され取調べの上一月十六日平壤地方法院檢事局へ送らる

寒稽古――京城中學校道場にて

●仁王山颪　肌寒さに　京城中學寒稽古

京城中學の寒稽古は寒の十日から三十一日までを例により猛烈につゞけることゝなつた、生徒はこのごろの嚴寒を朝の七時から八時まで

◆汗にぬれ　ながら稽古に勵むそれに學校以外からも飛入りがあつて道場は劍道柔道どちらも大繁昌である、劍道は目下二百五十餘名の生徒があり教官は瀧田、松井

◆兩指南の　外に岡村、高橋、澁谷、松下、鶴巻、岡田氏など一騎當千の勇士が續々やつてくる、それに肥つた太田視學官も竹刀をもつて大元氣また校庭東側の柔道部

◆道場では　毎朝三百七十餘名の生徒があり教官は岡村三段と松岡二段が奮勵する外に他からは岡田三段、渡邊三段、田中三段、鹽見二段中村二段などの

◆錚々たる　先生株がやつて來て仁王山颪の肌寒きに毎朝ドタンバタンの大盛況である、それに此の猛烈な稽古を見るべく毎朝缺かさず道場に

◆坐る少年　がある、それは柴崎校長の令息と藤見教諭の坊ちやんと西田西大門郵便局長の坊ちやんである

●猪と犬と激流中に　大格闘　雪となつた御獵第三日

御獵第三日は遂に雪となつたので三回で打ち止めの筈であつたが少し小降りになつたのに勇氣を盛返して第四回を決行することゝなり一行は午後三時半又栗夜叉から馬ケ脊、長谷、砂ケ瀬に掛けて

■最後の突撃　を試みた記者が栗夜叉谷を通り蒐ると恰度其所に陣取つて居た泉谷君が『マー此所で見物して行き給へ』と聲をかけたので道端の岩の上に腰を卸して話して居ると三十間許り前面の叢に突然ガサ〳〵と凄じい騷ぎが起つた素破こそと立上つて見ると五貫餘の小豬と

■一頭の獵犬　とが一ツになつて鞠の樣に轉がり落て來たのだ併し如何せん犬が喰ひついて居るので發砲することが出來ないアレよ〳〵と觀て居る間に猪は漸く犬を振放して記者の前を橫切て素早く前なる谷川へ飛込んだがアハレ同岸が絶壁で攀れない犬は得たりと許り再び猛然と

■躍りかゝり　此處に滔々たる激流中の大格闘となり猪はギヤ〳〵悲鳴を揚げ犬はワン〳〵と吠ながら互に上になり下になり組んづ外ぐれつ水煙を立て、必死と闘ふ其勇ましき面白さ又も犬を振放し逃て逃出さんとする所を泉谷君がズドンと一發彈丸は

■美事に豚腹　を打貫ぬきギヤツと悲鳴諸共溪流を鮮血に染し猪は遂に壯烈なる討死を遂げた此銃聲を聞いて早速驅つけたのは德川公爵『ヤー實にドーモ面白かつたですな僕も始めから向ふで見物して居たんですよ』と切りに面白がる處へ剽輕な西班牙公使もやつて來て猪の鳴聲と逃出した時の形容を

■巧みに眞似　ながら腹を抱へて笑ひこける斯て午後四時半終了獲物は此外に犬が嚙殺したドンコ一頭あり石川主獵官は馬ケ脊で又もや二十貫の牡鹿を斃止めたが織田子爵が突然背後から猪の突貫を受け危くも蹴り飛ばされやうとしてマンマと打渡した滑稽談に一同大笑ひとなつて降り頻る雪の中を宿舍へ引揚げた（東京）

●白刄を振つて刑事と格闘　京仁地方を荒せし三人强盗捕はる

本籍鹿兒島縣大島郡名瀬村前科三犯森富七（三六）佐賀縣松浦郡伊萬里村前科一犯山崎信（三三）三重縣川飯郡廣東村前科三犯永井丈吉（三〇）の三名は共謀の上京仁間を暴し廻り豫ねて其筋にて嚴探中一月六日頃仁川敷島遊廓内一力樓に登樓し十五圓五十錢の遊興を踏倒さんため山崎は同日午前九時頃金策に出掛けるとて逃走し永井は翌朝便所より森は窓口より

▲何れも逃走　したるを以て一力樓にては大いに驚き早速無錢遊興を以て警察署に訴へ出でたれば中島石川兩刑事は直ちに賊を搜索したる處山崎永井の兩人は外里一成舘に潛伏中を九日午前十一時頃逮捕し本署に連行の上取調たるに仁川花町在德成方及び龍山榮町松本梅吉方外數十軒に於て千餘圓の窃盗を働きたる事を自白したるを以て同警察署にては更らに森の行衛を嚴探中十五日宮町桶崎飲食店より窃盗を働きたる者あゝ旨宮町消防組へ急報したるより消防隊は早速

▲犯人を追跡　したるに犯人は白刄を振り翳して斬つて蒐り遂に逃走し翌午前五時京仁街道を彷徨中安田巡査に怪しまれ格闘の逮捕せられたるが此奴は前記森にて三名共謀の上京仁地方を暴し廻つたる事を白狀したれば直ちに本署に引致し目下嚴重に取調べ中（仁川）

●警官に化けて　博徒を縛上ぐ

慶南府山郡府内面北亭居住趙萬石（二）沈敬龍（二）同面城南洞李龍哭（二）同面校洞韓基出（三〇）等は共謀し府内面北亭金新平（五）方にて常に賭博をなす一團あるを探知し是等を脅迫して馬鍰を强奪せんと企て一月十二日夜四名は金釦附の黑服を着し警察官用類似の劍及び白筋を入れたる帽子を被り巡査補と誤認さるゝ樣なる風采をなし折柄金新平方にて數名の者が賭博開帳中を見澄まして四名一時に踏込み吾々は府山警察署巡査補なりと稱し捕繩用の麻繩を取り出して賭徒を逮捕せんとしたるも何れも逃走したるが逃げ遅れたる崔龍述（三七）を縛り揚げて毆打し家主金新平をも脅迫して所持金十錢を强奪し四名は悠々と引揚げたるが此の僞巡査四名は間もなく府山署の本巡査に取押へられ取調べの上府山檢事局へ押送されたり

●官金　千餘圓の費消　連山關守備隊の計手

安奉線連山關獨立守備大隊某主計は部下の辻計手を信用し金庫の鍵其他を任せたりし爲め辻は官金千八百餘圓を費消したること此程に至りて發覺し辻は目下監禁取調中なるが他に連累者あるらしく同人の自白により千二百圓丈は使途分明せるも後の六百餘圓の行衛は頑として口を噤み白狀せず何れ軍法會議に廻さるべく又主計も其責任は免れざるべしと而して辻は外泊二十圓の月收なれども煙の如きは毎に上等の金口のみを用ゐ其代金丈にても給金にては足らざる程の贅を盡し雜貨店の拂ひ等は毎月五十圓に上りたる由同人は此金を概ね酒色に費やしたれ共發覺を畏れて同地にては散財せず重に橋頭本溪湖奉天安東等の料亭にて費消せりと

●豺豚を淩ふ　平安南道孟山郡瀛田面倉里口賀年十二月三十日三十一日の兩日に涉たり豺現はれ飼豚二頭を喰ひ殺したるが里民は憲兵分遣所と協議し驅除中なりと

●掻淩つて逃げる　熊本縣玉名郡荒尾村上田定太郎（二）は釜山埋立新町岩崎ケン方に止宿中去る十四日午前同宿の中尾英治の不在中同人の居間に掛けありし一樂羅織及び米澤紬の袷二枚七子紋付の羽織等代價四十圓の物品を掻淩ひ其儘同處を逃走せしより其旨釜山署に告訴したりと（釜山）

⊚仁川園菲大會　[illegible]

⊚『悲慘なる一家』へ　本紙十四日夕刊三面所載『悲慘なる一家』へ京城仁寺洞某夫人より金一圓、平壤大和町金川力松氏より金一圓、土佐組會社京城支店々員一同より金五圓二十錢本社を通じて寄贈ありたり

春場所　▼七日目

（十八日午後十時東京支局特電）

十八日の七日目は東方大に奮ひたり西方の總敗北當日の勝負及び八日目の取組如左

勝　負　勝　負

荒玉　朝日山　三杉磯　泉
清瀬川　大潮　朝緑　大關
玉の川　緋縅　稲の穂　大の高
八甲山　明　常の花　鳴門洋
土州山　休　大門岩　翠ケ浦　釋迦嶽
敷島　預　岩木山
黒瀬川　宇都宮
一港　玉手山
大戸平　九州山
大錦　石山　鳳　小常陸

中入後

逆鉾　紅葉川
浦の濱　駒泉
源氏山　千葉ケ崎
大響　梅川
眞砂石　兩國
伊勢濱　栃木山
太刀山　宮城山

右の内▲敷島に岩木山は岩木遮二無二突張つて敷がその左手を手繰つて廻り込まんとするを預けて押切りしが岩木に踏み切りなりとの物言ひつきて結局預りとなる

▲黒瀬川に宇都宮　は右四ツ黒瀬の寄り身を宇都大きく小手投げを打つて極まりしも宇都此の時土俵を踏み越せるため黒瀬の勝となりしは惜むべし▲玉手山に一港は右四ツ玉手吊り下らんとする所を抱き上げれば玉手一堪りも無くゴロリと橋倒れは餘りに情けなし

▲大戸平に九州山　は當日の好取り組左四ツ九掘つて斜めに正面溜りの方へ寄り進むを大戸得意の巻き落しにて九州バツタリ膝頭を突き大戸の勝は大喝采▲石山に大錦は左四ツ寄り倒して錦の勝▲鳳に小常陸は小常の出鼻を鳳首捻りにかければ小常の御謙遜の如くにコロリと倒る之にて中入

中入後

紅葉川に逆鉾は紅葉例の如く下より突き上げ突張るを逆鉾も劣らず突張り烈しく渡り合ひその内遂ひに突き出して逆の勝は素敵な元氣なり

▲浦の濱に駒泉　は駒例の如く突きかけては叩く事二回浦危ふく殘して左四ツとなるや右上手を引いて強引に吊り駒が外掛けに防ぐを頓着なく吊り出して浦の勝

▲千葉崎に源氏山　は好取組なり例によつて容易に立ち合はざりしが暫らくして立ち上がるや千葉の突き張るを源氏イナシてその氣勢を挫き鳥渡左四ツとなりて千葉が外掛けに靠れ込まんとするを出し投げを打つて源氏の勝は喝采▲大響に梅川は梅突きかけ左手に腮を攻めて押すを響外して押さへつけ渡し込み響の勝

□好取組―八日目

千葉ケ崎に駒泉　浦の濱に逆鉾　鳳に九州山、　大戸平に栃木山

▲眞砂石に兩國　は眞砂鋭く突張り兩のタジログ所を透さず右を捲いて小手投げを打ちしが眞砂よく殘し再び勢ひ込んで突き進み兩が再度の小手投を打つを殘しつゝ渡し込んで眞砂の勝は喝采

▲伊勢濱に栃木山　はバツタリ左四ツ栃木勢ひ込んで一氣に寄り進むを伊勢右手を引いて廻り込みつゝ吊身に寄り出し伊勢の勝は立派な大關なり

▲太刀山に宮城山は小手投にて太刀の勝にて打ちだしたり

▲大門岩休場、新入幕力士大門岩は足を痛めたるため七日より休場せり

▼八日目の取組

（朝緑（大潮（玉の川（駒泉
（若島（鳴門洋（翠ケ浦（千葉崎

（稲の穂（宮城山（小常陸（源氏山
（敷島（紅葉川（眞砂石（玉手山
（兩國（岩木山（梅川
（黒瀬川（伊勢濱（太刀山

中入後

（一港（釋迦嶽（逆鉾
（土州山（八甲山（浦の濱（宇都宮
（栃木山（大錦（九州山
（大戸平（大響（鳳（石山

◉國技館大相撲　春場所成績表

（表中○勝●負△預×分）

東の方

鳳	○	○	○	○	○	○	○
伊勢濱	○	●	○	○	●	○	×
太刀山	○	○	○	○	○	○	○
朝潮	や	や	や	や	や	や	●
大戸平	○	●	○	●	●	●	○
玉手山	●	●	●	●	●	●	●
黒瀬川	○	●	●	○	●	○	○
眞砂石	○	○	●	○	●	○	●
大響	○	○	●	●	●	○	●
鶴渡	や	や	や	や	や	や	●
石山	●	○	○	●	●	●	●
浦の濱	○	●	や	●	○	△	●
千年川	や	や	●	●	●	●	○
大鳴門	や	や	○	○	や	△	●
紅葉川	●	○	○	○	○	●	○
土州山	や	や	○	や	●	●	○
敷島	△	○	●	○	●	○	●
若島	や	や	や	や	●	●	△
柏戸	や	や	や	や	や	や	○
千葉崎	●	△	○	○	○	○	○
翠ケ浦	○	や	●	●	●	●	●
鳴戸洋	●	●	●	○	●	○	●
八甲山	○	●	●	●	○	○	○

勝星 六十二　負星 六十一

西の方

對馬洋	や	や	や	や	や	●	●
西の海	や	や	や	●	○	●	○
大錦	○	○	○	○	○	○	○
栃木山	●	●	○	●	○	や	○
兩國	●	○	●	○	○	●	○
九州山	●	○	○	●	○	○	○
宇都宮	●	や	●	●	●	△	●
小常陸	●	●	○	や	○	●	●
綾川	や	●	や	や	や	や	×
源氏山	○	●	○	●	○	や	●
君ケ濱	や	や	や	や	○	○	●
岩木山	△	●	●	○	●	○	●
梅川	●	○	●	●	●	○	●
釋迦嶽	●	○	○	●	○	●	●
宮城山	や	や	○	○	○	●	○
逆鉾	○	△	●	○	○	○	○
近江[illegible]	や	や	や	や	や	や	や
紫雲龍	や	や	●	●	●	○	○
一港	○	●	●	○	○	●	●
駒泉	●	●	○	○	●	○	○
四海波	や	や	や	や	や	や	や
大門岩	や	●	●	●	○	△	休
龍ケ崎	や	や	●	●	●	●	△

勝星 五十四　負星 五十七

えんげい

▲壽座　中村新駒十八番の辨慶勸進帳にて新駒の辨慶、鎭之助の義經にて[illegible]若迚の出端しあり喝采を博し居れり

▲黄金館　十八日よりの差替新寫眞は第四回[illegible]海、新派悲劇の火祭にて好評

▲浪花館　東京浪花節雲門助六一座にて相變らず賑かなところを語り居れり

▲御成座　眞美團十九日夜の替り狂言は一番目森の糸切騷動なり

▲稲荷座　浪花節竹川馬生一行

▣雷の引力　仁川の歌舞伎座に唸つてる浪花節の東洋軒右衛門去る十二日或る料理店のお伴で同地の三吉野といふに登樓して藝者の又助といふ藝者と合つた處、此の又助さいふのが浪花節が飯より好きと來て忽ち共鳴し仁川に興行中は毎日缺かさず親不孝際を被る事となつたが、さて此の結果は如何なる事か次の段――

▲哈爾賓から寄越した志岐組の小田君の通信によると寛城子驛の滯貨は二千貨車でそれが日に二十貨車づゝ殖えて行く▲現在の東清鐵道南支線の輸送力は一日平均二十五貨車だから現在の滯貨の輸送だけに八十幾日かゝるわけで▲救濟策としての哈爾賓長春間の荷馬車輸送も近頃始められてドシ〳〵荷物を運んでるさうだ▲一方浦鹽の堆貨と來たら一萬三千貨車に達し十何ケ月かゝらなければ運び切れないさうだ▲その上旅客列車も貨物をドシ〳〵積むので牽引力を減殺され毎列車六時間乃至二十時間の延著だ　さうな▲滯貨が何うの彼うのと騷いでも朝鮮あたりのはこれに比ぶればお話にならない▲いやお話にならないところが有難いわけさ

公告　京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

● 高陽郡漢芝面下往十里參拾五番地
一 田九百貳拾七坪
最低競賣價額金四拾五圓也
一 同所貳百拾五番地 田參百坪
最低競賣價額金壹百參拾九圓五錢也
右 競賣申立人 姜順明
不動産所有者 朴永煥

● 京城府太平町貳丁目百參拾九番地
一 垈拾七坪
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾參坪壹合
最低競賣價額金貳百四圓也
右 競賣申立人 京城十友合資會社
不動産所有者 梅村式太郎

● 京城府齋井洞八拾參番地
一 垈五拾貳坪
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾參坪參合
附屬木造瓦葺平家建壹棟
此建坪拾貳坪九合九勺
最低競賣價額金參百拾貳圓也
右 競賣申立人 京城十友合資會社
不動産所有者 白樂正

● 京城府[illegible]通壹丁目四拾九番地
一 垈參拾貳坪
最低競賣價額金參百貳拾圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺貳階建本家壹棟
此建坪拾八坪
外ニ貳階坪八坪
最低競賣價額金八拾圓也
右 競賣申立人 株式會社明治屋
不動産所有者 久保田六三郎

● 京城府黄金町四丁目貳百四拾七番地
一 垈拾七坪
一 地上ニ建設
一 木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪九勺
最低競賣價額金壹百貳拾圓也
右 競賣申立人 金壽南
不動産所有者 松崎昌吉

● 京城府光化門通貳百拾參番地
一 垈六拾七坪
最低競賣價額金六百圓也
右 競賣申立人 株式會社漢城銀行
不動産所有者 金浴泰

● 京城府安國洞八番地
一 垈壹千參百拾坪
最低競賣價額金七千七拾四圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳百七拾六坪八合六勺
最低競賣價額金貳千參百五拾參圓也
右 競賣申立人 株式會社漢城銀行
不動産所有者 金浴泰

● 京城府鍾路五丁目七拾參番地
一 垈貳拾七坪
最低競賣價額金五百四拾圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾五坪參合八勺
最低競賣價額金八拾四圓五拾錢也
右 競賣申立人 中野權六
不動産所有者 淸水五兵衛

● 京城府本町貳丁目七拾七番地
一 垈百六坪
最低競賣價額金貳千四百參拾六圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪參拾坪參合六勺
最低競賣價額金貳百拾貳圓五拾錢也
一 同所建設
一 木造瓦葺貳階建本家壹棟
此建坪拾貳坪壹合
外ニ貳階坪八坪五合八勺
最低競賣價額金壹百五拾五圓也
一 同所建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪七坪五合八勺五才
最低競賣價額金四拾九圓也

● 京城府壽町四拾四番地
一 垈六百六拾坪
最低競賣價額金貳千五百七拾五圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾七坪九合參勺
附屬木造瓦葺平家建物置壹棟
此建坪六合六勺
最低競賣價額金壹百貳拾壹圓也
右 競賣申立人 株式會社京城銀行
不動産所有者 小出莊藏

● 京城府八判洞百四拾六番地
一 垈貳拾參坪
最低競賣價額金九拾四圓五拾錢也
一 地上ニ建設
一 木造草葺平家建本家壹棟
此建坪八坪貳勺
最低競賣價額金貳拾四圓五拾錢也
右 競賣申立人 朴德東
不動産所有者 高東仁

● 京城府本町四丁目貳拾壹番地
一 垈五拾四坪
最低競賣價額金五百拾參圓也
一 地上ニ建設
一 木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾壹坪八合八勺
最低競賣價額金壹百四圓也
右 競賣申立人 福田松三郎
不動産所有者 稲垣留五郎

以上競賣期日 大正六年貳月參日午前拾時トス

再診療開始

昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ヶ月間再び診療を開始す

痔核。痔瘻。脫肛
直腸脫。痔出血。裂痔

京城長谷川町安東病院（電七三〇）內出張

肛門病注射專門

院長 久枝秀喜

最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

社告

京日案內廣告料金左之通り改正し大正六年一月一日より實行仕候

番外　五行一回　金前 壹圓
普通　三行一回　金前 五拾錢
匿名一回毎に拾錢増し無割引

京日案內

▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎十六歲迄化粧品製造徒弟二名入用 市內に保證人二名を要す 姓名在社

◎解雇 店員一番ヶ瀬勝海都合に依り解雇致候間自今弊店に關係無之候也 龍山漢江通三巴商會支店 電三三八 66

◎京仁齋年中維南出張致し居候處今般歸京仕候間舊倍の御引立願上候 永樂町一丁目電一八七六 網島表具店 65

◎牛乳配達人入用 市內に保證人を要す 京城西大門外冷洞七六 東洋牧場 電九三六 67

多忙なる雜貨店に確實なる帳場一名至急入用（姓名在社）57

有給外交員募集 希望者履歷書携帶本人來談 日本生命京城出張所 60

番外

成功致富の好機會 成金の近道株式相場の素養あり富豪又は資力家の財產利殖係に招聘せらる（姓名在社）32

男女外務員募集 希望者履歷書携帶午後五時來社 京城シンガーミシン會社 63

事務員募集 年齡四十歲以下漢文の素養あり頗る文才ある者月給三十圓內外 京城圖書館 電話九六七 65

うちみ くじき ほねつぎ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 1

京城春川間乘合自働車 賃金 片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話貳壹參八番 支配人 春川自働車商會 松田壽男 2

恩給年金立替 利子年一割 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 7

怒濤の月

五十三 小林蹴月作 武内桂舟畫

死神「十二」の三

邪惡貪婪なるお久にも、一通りの驚きと悲みとは、無い筈がなかつた。長い間連れ添つた良人が、此の無殘なる最期の狀態を眼前に見た刹那は、流石に氣も狂するばかりの爲體で、途方思案に暮れきつたのであつたが、結句總十郎の變死——即ち此の思ひがけなき一家の大災厄を材料に使へば、又更により以上の金の手蔓に有付かるゝに違ひない…………と、思ひ至つた時、お久は、心私かに眼前の悲哀を贖ひ得るだけの滿足なる怡びを感じたのであつた。お久は、何處までもお久であつた。表面ばかりの涙を拭きつゝ、手續きを濟まして、病院から良人の屍體を引取り、五番町の我家へ持ち搬んで來たのは、翌朝の午前五時頃であつた。

此の頃の五時はまだ夜中にも等しい暗さで、近所でも殆んど、それを知る者がなかつたのを幸ひ、お久は、飽までも秘密を守つて、先づ銀座の商店へ遣つてある連れつ兒の憲吉を電話便で呼び寄せ、それから、良人の總十郎には、義理の從兄弟だと稱して、かね〳〵出入りを爲して居た得體の知れぬ職人風の男に來て貰つて、これに火葬場の世話やら何やら彼やら一任したのであつた。

職人風の男は、名を銀さんと呼ぶのであつた。年齡は、お久よりも四つ五つ下らしいのである。純江戸つ兒辯の可なりてきはきとした役に立ちさうな所も見ゐるが、到底お久ほどには、遠謀深慮がありさうで、なかつた。そして、お久を呼ぶのには、何でも彼でも『姉さん〳〵』と、言つて居る。その癖、憲吉に對しては、頗る横柄で、横柄の中に又、頗る心安げな……時としては、自分の子に對するやうな碎けた軟かい態度さへも雜つて居た。

『姉さん、少し陽氣が緩んで來たと思つたら、ぼつ〳〵降り出して來たやうだね。』

『まあ、然うですかね。今夜火葬場へ送つて了ふまでは、酷く降らせたくないもんだね。あの、憲ちやんや、お前、其處の軒下に出て居る戸板や何か、此方へ入れといて下さいよ。』

『それからね、憲坊、俺の麻裏も濡れねえやうに、此方へ回しといて呉んなさいよ。』

憲吉は、命の儘に其處等を取片付けなど爲て居る。

『そりや然うと銀さん、お前さん、お腹が空いたでせう。もう午砲は疾くの昔に打つちまつたやうだから、御飯を喰べたら。』

『姉さん、御飯も結構だが、飲み物が肝腎だね。こんな氣味のわりい亡者の棺桶を眼の前に控へて、硬い飯なんかが咽喉へ通るもんぢやありやしねえさ。』

『それも然うですね、ぢや妾も一口お交際を爲ませうか。』

西洋料理『帝氣すき燒、ハイカラ丼 おいしい京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

お久は、自ら起つて、酒の準備を整へて來たのである。

白木綿で、きり〳〵と卷き付けてある粗末な棺桶の前には、形ばかりの小机が据ゑられ、その上には土器の香爐と、樒の花立と、灰色を爲たやうな生團子が並んで、線香の烟が盡きぬ世の怨みを細く長く糸のやうに天井まで立ち昇つて居た。

お久と銀さんとは、その前でもつて、臆面もなく酒を酌み交し始めた。憲吉のみは、それでも實の父でこそないが、幼さい時から世話になつた義理の親が、斯うして淺猿しい果敢ない末路を遂げたのに就いては、深い追憶と哀愁の念を起さずには居られなかつたと見ゑて、時々棺桶の前に跪座いては、線香の絶ゑぬやう絶ゑぬやうと心懸けて居るのであつた。

『阿母さん、僕がおせつかいを言ふやうで惡いけれども、親子一生の永訣だと云ふのに、細姉さんを呼んで一目丈でも死顏に逢はして遣らなきや可哀さうぢやありませんかね。』

今しも線香を手向け了つて、三尺ばかり後へ引退りながらの憲吉は、お久の子には珍しい殊勝なしほらしい態度と口吻とを以て、徐かに斯う言ひ出して見た。

『餘計な世話をお燒きでない。』と、お久は、淡手と紅くなりかけて來た險を手の裏に揉つて、『憲吉、お前にそんな指揮を爲れなくても、銀さんと云ふ人が、ちやんと一切の世話して下さるんだから默つて引込んで居なさい、いろ〳〵懷中都合のある事を知りも爲ない癖に……。』

頭ごなしに叱り飛ばされて了つたので、憲吉は、圓ろく頰桁を膨らしたなり默つた。

齒科 橋本齒科醫院 齒科醫學士 橋本清次郎 南山町三丁目巴城館上 電話一九二〇

◎唖と唖の結婚

先程京都敎會にて結婚式を擧げたる聾唖界の新夫婦あり新郎は岡山中學校の敎諭平松麗太郎氏の長男龍(三〇)にて大阪盲唖學校日本畫科卒業後同助手として敎鞭を執りしが筆談にて何事も理解し得るといふ新婦は京都敎會の女傳道師福永といふ婦人の愛孃にて三歲の時腦病の爲聾唖となりしが京都盲唖學校に七年間修業せし故筆談と手眞似にて何不自由なく暮し居れり婚禮四五日は新婚旅行として阪神間に遊びしが昨今は書筆に親み居れり近く山本春擧畵伯の門人となる由(大阪)

□山城吟社句集

一月九日寄石居に於て

遣羽子に暮れて別るゝ袂哉 豊山
福壽草やしなふ水も四温の日 桂川
歌かるた人々に月更けに鳧 文の舍
縫初めて御題目出度し糸の綾 多摩子
消ね易き淡雪を乙女心哉 神岳
拍手の右に聞きけり初鷄 さた女
彈初や鶴龜の山仙に入る 秋光女

初東風や幸多き國に離れて 孤秋
左義長や燃に殘る松に煙草のむ 奇石
朝日さす海苔掻船や春の雪 同
絹絲長く鏃ゆ手の反りや餅白し 友萍
燒き上げし疊の肉並の初湯哉 同
初鏡帶の端投げて後ろ向く 如雪
若水に大きな星の映りけり 同
歌かるた我膝の月さらはれし 同
師の門に袴短き禮者哉 可舟
若水を飲みて去にけり小鳥哉 同
さぶらはぬ宮女や淋し松の内 同
雌鷄の飯に巣に就く春の雪 空堂
蝴て取るかるたの人や片頰 同
人日や燈芯の火に打つ切火 未刀
書初や水仙に畫紺うづ高き 同
年玉や伯父の選べる煙草入 同
梅林の中に句碑あり村文庫 死香
谷川の僅に涸れず梅の咲く 同
戲作者の墳探り得たる春の雪 同
春の雪乘せて昔舫や下り船 同
降國にあがる烽火や春の雪 同
蝦夷や麻の亂れも市品 同
鐵初雪の多樂の線打つ 同
萬歲の國門(は遠き國と云ふ) 同
舞初のつまう足袋穿く子哉 同

□林一象氏の新任を祝す
鯨船能鳴らし寄る雄々しさ 黄丘

新刊紹介

▲大阪銀行通信錄(十二月號) 戰亂と我國々債役、準備問題と聯邦準備制度の特殊米國新手形交換制度實施後の經過▲重要記事もし、廿五錢大阪市中區中島大阪銀行集會所

▲大邱商業會議所々報(十二月號) 慶北の商工業に及ぼせる影響大邱物價調表大邱經濟事情大邱の業界大邱貿易其他(借本洋大邱商業會議所)

▲極東時報(一の七) 佛國に對する佛國の使命(福田德三)[illegible](東京市京橋區築地明石町三三一東洋時報社)

▲警務彙報(十二月號) 戰時中立の性質(立博士)及び朝鮮人の[illegible]レインの應用例其他如例(十五錢朝鮮總督府警務總監部)

▲東洋時報(十二月號) 滿洲問題[illegible]歐洲經濟戰爭[illegible]支那に對する米國の[illegible](五十錢東京市麴町區內山下町一の一東洋協會)

▲隨鷗集(十二月號) 隨鷗吟社大會[illegible]錄東京府下千駄谷町五二四隨鷗吟社)

▲大川實業協會月報(十二月號) 大田以[illegible]其他諸統計及商況一斑商品概況物價表◎(八錢大田本町一大田實業協會)

▲日本印刷界(十二月號) 新年と讀者の[illegible]明品、廣告心理、[illegible]の研究、晩近印刷界の[illegible]告を拵へる人の資格[illegible]印刷法其他(二十七錢大阪市東區南本町二の三八其社)

▲日蓮協會報(二) 日蓮聖人と其の時代[illegible]市況、小間物市況其他(非賣品東京麴町區內幸町一の三日蓮協會)

▲飛行少年(二月號) [illegible]少年の意氣に投合すべき[illegible]讀者文藝欄亦賑かなり(十二錢東京市京橋區本八丁堀二日本飛行研究會)

▲極東時報(九) 思想の戰爭と利益の戰爭(浮田和民)巴里から「ノジエール」佛國西の警服デシヤチル等を收めたる日佛漢文の週刊雜誌(十八錢東京市京橋區築地明石町三二其社)

◎註解漢和大字典發行の盛況 東京神田南山房發行服部博士小柳學習院敎授合著の註解漢和大辭典は發行以來非常の賣行にて旬日にして早くも三版を重ね優先券附特價部數は一兩日をもつて盡きんとするの盛況を呈せりといふこれ著者が現代式漢學者なるだけに說明が明快にして分り易く辭解の名の如く從來の字書より解釋簡潔なるが人氣に投じたる結果なるべしと雖も又一には價格の割廉なるに基因せるや疑ひなし此新式體裁の時に際し六號活字四六版二千餘頁の大本が廉價にて購はれ得ること故斯く社會の注意を惹きたるも無理ならぬことといふべし特價部數の盡きざる內に購入せらるゝが利益ならん

◎漢學講義錄 東京神田區表神保町帝國漢學會發行の同講義錄は每號三百頁內外の大冊にして一箇年を以て卒業期となし講師は現代第一流の大家にして講義は通俗平易を旨とし說明の懇切なること他に類を見ず精神の修養文章の練習等の爲め漢文を研究せんと欲する者は本書に就て學習せば裨益する所甚大ならん因に今回創立七週年記念の爲め入會金免除其他の大特典提供せらるる由委細は同會へ向け葉書にて申込めば見本附會則を寄せらるべしと

七日で鏡をどらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元素液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 滿鮮卅錢 臺樺卅錢
小壜二十錢 德用四十錢
東京神田和泉町 公本堂吉

髮手入は一度で
髮の良き人には愈良く惡き人 植物性美 毛劑加味
閨閣の良の油
は忽ち漆の黑さとする
定價 德用瓶卅五錢 小瓶廿錢(送料內地四錢、滿鮮卅錢)
ホーカー美髮液
東京和泉橋 一堀越 嘉太郎商店 振替東京一五六

タイヨー萬年毛筆
墨に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

自一月二十日 至一月廿四日 無料 診察 投藥(外來患者に限る)
京城實費診療醫院
京城南大門內正面救世藥館內 電話二五八三番

日印協會理事 副島八十六著 二好評如湧
四六版三百五十頁 定價壹圓 郵稅六錢
帝國南進策
▲印度南洋に於ける內外定期航路圖(印度南洋に關係ある內外二十五汽船會社の各航路約一百線記入港名約二百六十に達す)各種統計比較諸表十餘種挿入
南へ!何故に?——如何に!
之を說いて事實上に國民の肺腑に徹せしむるは無し。然れども論や慷慨憤る如き志士的絶叫や少からずと雖も其に事實を基礎として一々數字の上に首肯せしむる我が副島八十六氏の本書の如きは空谷の跫音也
著者は二十年前初めて渡南し、爾後南洋諸國の間を往來する三回、滯留前後六年、細さに其風土人情及び商工業を究めて帝國南進策を說く二十年一日の如し。我が南進論の率先者たると同時に其貫徹を以て使命とし、現に日印協會理事の職に在つて印度南洋貿易の發展及び日印の國際的親善を計畫するに雖れ日も足らず、印度及び南洋を知り且紹介せんとするに於て唯一の空論的政論家又は書齋裡の學究と撰を異にす。即ち本書の所說は書籍の死したる文字に由らずして盡く活き實際の事實に基づくもの、例へば本書の基礎とする統計の如き皆に年鑑又は報告の數字を無定見無責任に引寫しにしたるに非ずして一々事實に由て檢覈糾繹したる如き以て著者の用意の細密周到なるを知るべく、一行一句と雖も二十年間の調查遊說を以て細察したる事實の結晶ならざるなし。今や未曾有の歐洲大戰爭は帝國貿易上に空前の天佑を與へ、獨逸が三十年間の勞力を以て築きたる東洋貿易の覇權を一朝にして取つて代らんとする時に方つて、一旦獲得したる今日の經濟上の位置を益々展進して再び失はざらんとする著者滿腔の覇心勃々として禁ずる能はず、此一篇を捧げて遍く帝國々民を發醒奮起せしめんとす。
南へ!何故に?如何に?帝國國是として國民が協力一致して嚮ふべき道は本書に由て明鏡物を照らすが如く明らかなるべし。
發行所 東京市京橋區日吉町 振替東京一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

上山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、加藤獨彈醫學士、山田獨醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる
淋病新藥 內服 ツヨール
○到處藥舖に販賣 發賣元 東京日本橋川瀨石町十一番地 ツヨール商會 關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛
▲本品は殺菌力強大にして絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す 百粒入壹圓五拾錢 五拾粒入八拾五錢 廿五粒入五拾錢 說明書無料贈呈す

最新刊
當世百道樂 堀內新泉 一、二〇
大正六年用日本紳士錄 交詢社 五、〇〇
民事訴訟法判決質例 若槻榮 三、〇〇
世界の產 牛井日賢三 一、〇〇
新書道之研究 上下 木村翫石 各八五
吾國民敎育の革新 若浦仲太 一、五〇
日本帝國國勢一斑(第卅五回) 一、一〇
比律賓跋涉 土屋元作 二、〇〇
大山元帥 西村文則 一、二〇
食物化學 澤村眞 一、八〇
通俗土壤學講義 船津潛吉 一、〇〇
通俗綠肥大全 矢崎亥八 一、八〇
青年消路勇氣の修養 田中杉山 七〇
新モンロオ主義 厨川白村譯 一、〇〇
縮刷豐臣秀吉前編 碧瑠璃園 一、八〇
縮刷萬葉集 木田吉太郎 九〇
縮刷平家物語 同 九〇
新撰日本書畫名家年表 矢野宰六 二、五〇
大正五人男 村上浪六 一、〇〇
女のくせに 中平文子 五〇
小說須磨の家 渡邊默禪 五〇
ペン數字練習帖 大阪屋號編 五〇
京城本町二丁目 大阪屋號書店 電話二〇八六番 振替京城二五七三番

請合藥 りん病 ばい毒
東京大門外停車場通り 大ドラッグ商會朝鮮本部
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽 に廿物アリ御注意

大邱浦項間自動車時間

上り 浦項發 前九、〇〇 後一、三〇
安康同 一〇、〇〇 二、三〇
慶州同 一一、二〇 三、三〇
阿火同 零、〇〇 四、三〇
永川同 一、〇〇 五、三〇
河陽同 一、五〇 六、〇〇
大邱着 二、三〇 六、三〇
下り 大邱發 前七、〇〇 後一、〇〇
河陽同 七、三〇 一、三〇
永川同 八、三〇 二、三〇
阿火同 九、三〇 三、三〇
慶州同 一〇、三〇 四、三〇
安康同 一一、三〇 五、三〇
浦項着 零、三〇 六、三〇

大塚農場自動車部 大邱出張所
浦項七番 電話 大邱二一七番

日本郵船仁川出帆

三河丸 一月十日正午出帆
淡路丸 一月廿一日正午出帆
高砂丸 一月三十日正午出帆
○大連行、秦皇島行
電話一一番 仁川海岸町一丁目 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令航路
第二共同丸 一月十九日正午入港 一月二十日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客運輸連絡取扱仕候
大連にては旅行案內所に、荷客共直航船と同運賃にて通し輸送御取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 一月廿四日 釜山發
○京畿丸 一月廿三日
○黃海丸 一月廿九日
○咸鏡丸 一月二十日
同船より釜山各港寄港鮮延基間航路
○穩城丸 一月二十日
○昌平丸 一月廿六日
○鏡城丸 一月廿四日 元山發
元山より各港經由雄基行
○昌平丸 一月廿五日 元山發
城津、端川寄港長箭行
○盈德丸 一月二十日 釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○澄陽丸 毎日 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 一月廿二日 釜山發
長承浦、巨文島、濟州島各寄港
○海州丸 ○統營丸 ○麗水丸 ○慶豐丸 毎日 釜山發
○順天丸 三日目毎 木浦發
○慶興丸 一月廿七日 木浦發
○公州丸 一月廿一日 木浦發
○江原丸 一月廿九日 仁川發
○鏡江丸 一月 仁川發
○麗水丸 一月廿二日 仁川發
○全羅丸 一月廿七日 仁川發
○錦江丸 毎日午前 仁川發
京城荷客取扱店 松原運送店(電話一七〇番)
仁川支店 電話一三六番
木浦取扱店 大池回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 毎月 日後五時出帆
小倉、神戶、清津行 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 日後十時出帆
第三小倉丸 城津、清津行 日後四時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 日後六時出帆
○天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一三二〇番五〇番
中國四國指定各船寄港切符發賣仕候
內陸運送會社支店 電話七〇八番

御注意 朝鮮總督府指定 ×印は一時寄港

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、馬山、神戶行 一月廿四日後五時出帆
×安東丸 一月廿七日
×天草丸 ○大信丸 一月十九日正午出帆
○木浦、釜山、神戶行 一月二十日正午出帆
×信濃川丸 一月二十二日後二時出帆
○蔚東丸 ○大連行 一月十六日正午出帆
×信濃川丸 一月十八日正午出帆
○湖南丸 二月五日正午出帆
臺東丸 一月三十日後二時出帆
○浦鹽行 大連 ×福音丸 一月廿一日正午出帆
△安平丸 二月三十日後十二時出帆
△安東丸 一月二十日 城津、西湖津寄港浦潮不寄港
×大智丸 一月 日正十二時出帆
×天草丸 一月 日
○上海、漢口行 湖北丸 二月八日前六時出帆
基隆丸 一月廿六日後四時出帆

大阪期米(十八日)
當限 十二 小限 一六、〇八 先限 一六、二五
五錢と返し四五錢を叙み合大阪正四十錢とのと押したるが押目は又賣物多く無理にも崩れず界なして益々崩味を思はしめたり不知我我の勝利者は現手持た敗手
後場の手振
▲⑪能く買ふ 後場前店より買たるも益々三千餘石に買ありたるも注目を惹いたり
▲⑪能く賣る
▲㊥の商內 後場前店より賣りたる玉數三千餘石賣たる玉三千餘石に上りたりとの事
▲後場商況 小に賣物薄の折柄反つて十錢高見當を以て商談行はれ居れり△通 津大豆八圓延安大豆八圓○玉製等にて出來たり
鮮一 高値 十二圓九十八錢 安値 十二圓九十三錢 出來高 三萬四千二百石